



咲耶会の皆様へ

幸せにしたい人に出会う。

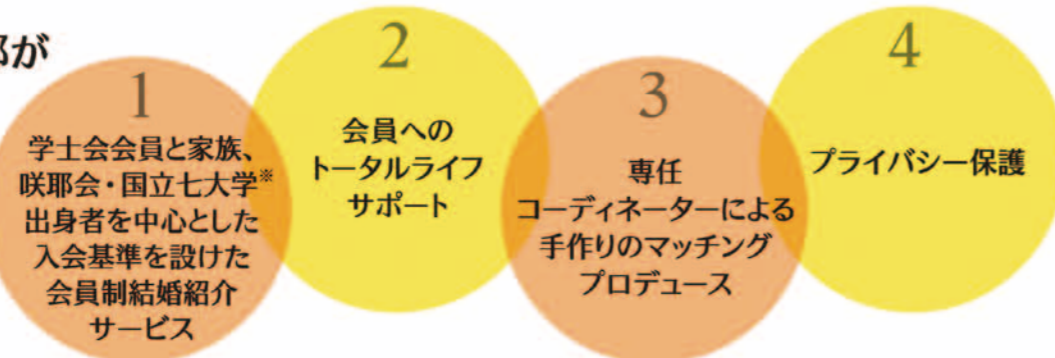
学士会館・良縁倶楽部

大切な出会い。そして堅実な結婚をあなたに……

学士会の正会員・準会員(咲耶会・国立七大学出身者を中心)とその家族の婚活を支援する倶楽部です。

学士会館・良縁倶楽部が
選ばれる4つの理由

※国立七大学：北海道大学・東北大学
東京大学・名古屋大学
京都大学・大阪大学
九州大学



サービス

- 団体紹介サービス
婚活イベントの開催(首都圏にて開催、参加料有料)
- 倶楽部会員の相互紹介
- 個別紹介サービス(提携先によるサービス)
- お見合用写真のメイク&撮影
- 成婚後のご相談
- 学士会館メールマガジン会員にご登録

入会条件

学士会の正会員・準会員本人およびその家族とします。また、次の条件を満たす方とします。

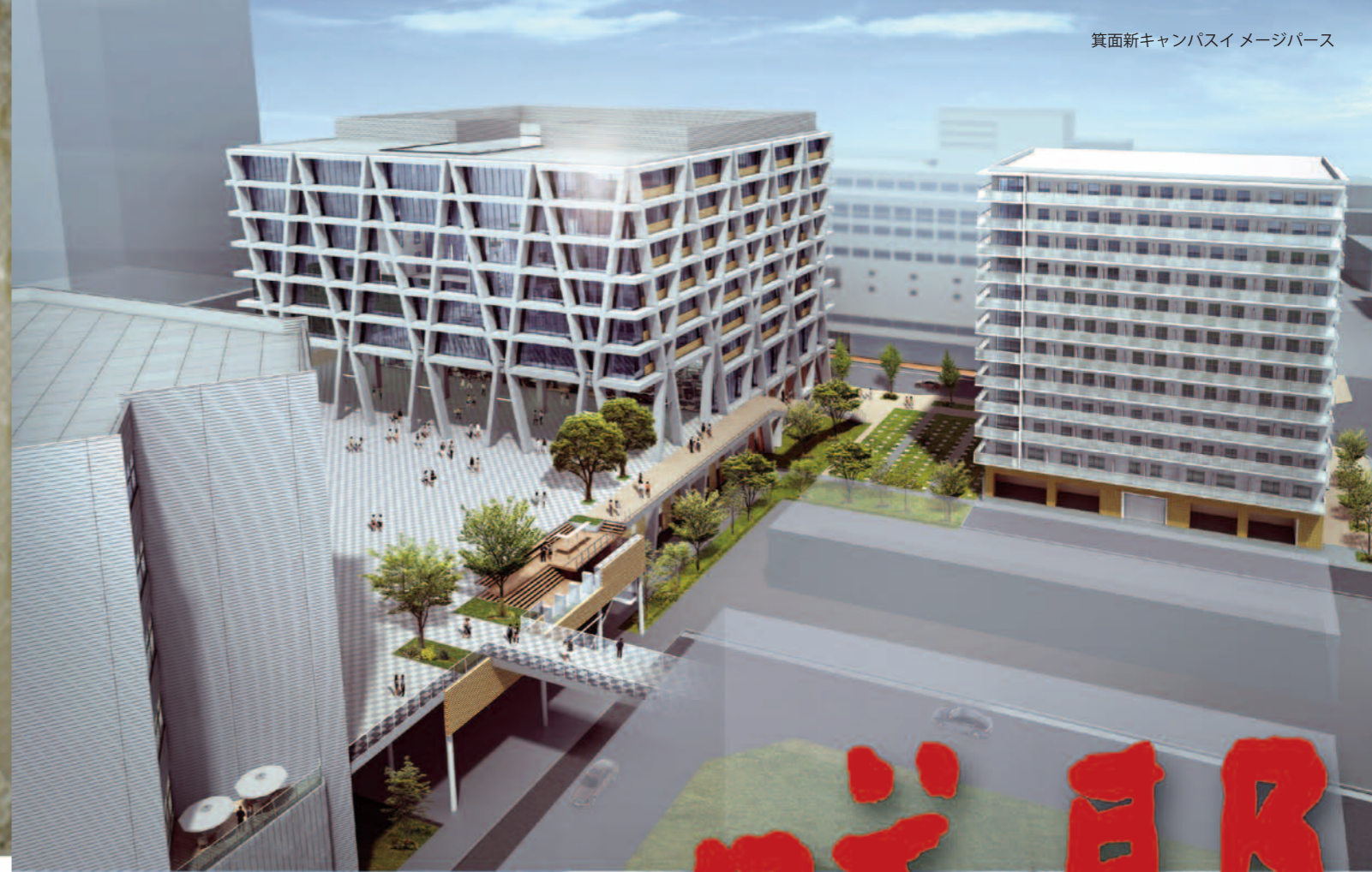
- [独身であり、結婚する意志を持っていること]
男性：25歳～ 社会的に確かな職業に就いており真面目にご結婚をお考えの独身の方
女性：20歳～ 真面目にご結婚をお考えの独身の方
- [当倶楽部の趣旨に賛同し、当倶楽部が定める規則を厳守すること]

お問合せ/営業について

メールアドレス：ryoen@gakushikaikan.co.jp 営業時間：11:00～19:00
電話番号：03-3292-5941 定休日：水曜日・木曜日

学士会館・良縁倶楽部

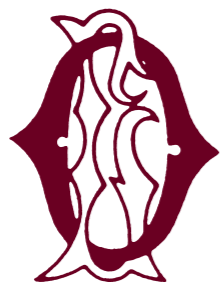
https://www.gakushikaikan.co.jp/ryoen/
〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28



咲耶会(大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会)

咲耶





【表紙のことば】

「これからの百年も大阪に国際人を育てる」との理念のもと、創立100周年を迎える2021年4月の開学を目指し、今急ピッチで工事が進められている箕面新キャンパス。新型コロナウイルスの感染拡大により、完成の遅延が懸念されたが、新年度はこのキャンパスで新しいスタートを切る。同じ市内とはいえ、現箕面間谷キャンパスとはまったく環境の異なる都市型キャンパス。その特性を存分に活かしたグローバルキャンパスの実現に期待している。交通の利便性に加え、隣接する図書館、市の生涯学習センターや文化ホール、外国人留学生と共に住む学寮等、真の国際人を育てる場としての条件は充分である。

1921年の大阪外国語学校開学から100年、連続と受け継がれてきた外語精神が、さらに練磨され、1階に施設される「大阪外国語大学記念ホール」の名とともに永遠なれと祈る。

目次	
2	ご挨拶 (咲耶会会長 大水 勇) ご挨拶 (大阪大学外国語学部長 竹村景子)
3	外大 100 周年記念寄付事業プロジェクト
4	令和元年度 決算報告/令和2年度 予算案 令和2年度 咲耶会総会の開催について
5-6	令和元年度 大阪大学 司馬遼太郎記念学術講演会
7-9	【特集】 緊急事態の世界から
10	【特集】 留学体験記
11-12	私のキャリアレポート
13-14	CAMPUS NEWS
15	菜の花 「歴史、文化、人間性」
16	懐かしの恩師は今
17-18	部活動の広場
19-22	咲耶会ニュース
23-24	つどい
24-28	支部だより
29-32	短信
32	物故者/追悼文
34-36	年会費支払者・賛助金寄付者一覧
37	咲耶会 (同窓会) 本部・支部一覧表
38	令和2年度 咲耶会役員名簿 個人情報の取扱いについて 編集後記

学士会をご存じですか？

学士会は旧七帝大（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・教員・学生からなる、七大学総合同窓団体です。咲耶会の皆さまのご入会をお待ちしております！

学士会会員特典

- 『學士會会報』が届きます。
- 講演会・イベントへ参加できます。
- 「学士会館」会員優待があります。

他にも様々な活動が可能です。詳細は学士会公式サイトをご覧ください。
<http://www.gakushikai.or.jp/>

学士会案内が届く準会員（無料登録）制度もございます。

一般社団法人 学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28
03-3292-5933 (平日 9時~17時)



ご挨拶



咲耶会会長
大水 勇

今年に入るや新型コロナウイルス感染症（以下単にコロナという）がパンデミック状態になり、現在も続いています。阪大外国語学部の学生が留学中にコロナに感染していたとの報道もあり驚きました。同窓の皆さまは、いかがお暮らしでしょうか。感染されていないことを願っております。

日本では、4月16日に全国に緊急事態宣言が出され、不要不急の外出を控えて、自粛するよう求められました。5月25日には、ようやく緊急事態宣言が解除されましたが、コロナの感染は下火になったとはいえ現在も続いています。

厚生労働省から「新しい生活様式」を提唱され ①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い、という基本行動が推奨されています。日常生活の各場面別の生活様式の中で手洗い、手指消毒、「3密」(密集、密接、密閉)の回避という行動変容を求められています。

コロナも過去の感染症と同じく、いつかは終息します。このような呼びかけがあるとコロナ終息後は、どのような世界になるのかと考えるようになります。「3密」の回避を続ければ個人ごとに分散する方向に進まざるを得なくなるのではないのでしょうか。

新しい100年に向けて



大阪大学外国語学部長
竹村景子

咲耶会の皆さま、いつも学部へのご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございます。昨年10月に学部長に就任して以来、全学的な催しに参加させていただく機会が増えましたが、その度に、「外国語学部は同窓会組織がともしかりしているのうらやましい」というご意見をうかがっており、大変誇らしく思っております。

この度のコロナ禍では、皆さまもご苦勞なさっておられると思います。国内だけでなく、海外におられる同窓生も多いので、様々な問題に直面されているのではないかと心配しております。皆さまが健康で安全に過ごしておられますように願うばかりです。

大学も今年度は当初から緊急対応に迫られ、初めての体験にとまどうことばかりでした。オンラインで行う「メディア授業」への対応で教員は右往左往しましたし、学生たちはいちょう祭、夏まつり等の行事が軒並み中止となるばかりか、課外活動も全面禁止となって、かなりフラストレーションが溜まったと思います。クラスター発生を抑制するという意味で仕方ない措置ではありましたが、本来的な学生生活を送らせてやれず、私たち教員も胸の痛い日々を過ごしてまいりました。

コロナ禍が落ち着いたとは言えない状況ではありますが、

そうであれば先輩、同期、後輩が顔を見ながら親密な交流を行い、お互いの友情等を確認しあう場という同窓会ならではの活動は、事実上不可能です。

今年予定されていた大阪大学の諸行事も咲耶会の行事も殆ど中止となりました。新入会員獲得のための活動もできないことになり、残念です。現在は、コロナの感染も小康状態になっていますが、巷間で第2次或いは第3次感染拡大があるのではないかと報道があります。

このような状況下では咲耶会としての活動は十分には、出来ないのではないかと考えますが、咲耶会の若い会員がWeb会議システムを使って、現役学生との交流を図っています。「オンライン就活交流イベント」と銘打ち、特に、就職活動中の学生の相談に乗っていますが、大学の先生方のご協力もあり、順調に進んでいるようです。新しい咲耶会の活動として注目しています。創意工夫で咲耶会の活動を続けたいと思っています。

現在我々執行部としては、10月25日(日)の咲耶会総会が開催できるものとして準備をしております。

最後に、咲耶会が、財政的に困難を抱えているのはご承知のとおりです。同窓の皆さま、年会費のお支払いをよろしくお願いたします。

皆さまもご存知の通り、本年度が箕面間谷キャンパスでの最後の年となりましたので、何としても現キャンパスに対するお別れ会は開催したいと思っております。すでに咲耶会のFB公式ページでご案内しておりますが、「ありがとう&さようなら箕面間谷キャンパス」、通称「ありさよ」という行事を企画しております。当初は11月1日(日)の予定でしたが、現時点では12月6日(日)に変更するというので鋭意準備しております。すでに咲耶会若手活性化委員会を中心に、記念品による寄付事業が動いておりますし、各専攻語の教員および代表学生、外国語学部公認団体の代表、夏まつり実行委員会のメンバー等からなる実行委員会が、様々な企画を考えております。また、文化系クラブの同窓生の方々を中心に、OBOGによるパフォーマンスも複数企画されております。

間谷キャンパスへの感謝と惜別の意を込めると同時に、2021年4月の新キャンパス移転ならびに100周年を祈念した催しにしたいと思っております。コロナウィルス感染防止対策は十分に取った上で開催する所存ですので、多くの同窓生の皆さまにご参加いただきますよう、よろしくお願いたします。

外国語学部は、新たな100年に向けて来年4月から真新しいキャンパスでスタートを切ります。若い後輩たちのために、今後も咲耶会の皆さまからの温かいご支援とご協力を賜りたく、心からお願申し上げます。

外大 100 周年記念寄付事業プロジェクト

来年 2021 年は、大阪外国語大学創立 100 周年にあたるとともに、40 年以上慣れ親しんだ箕面間谷キャンパスから新船場地区への移転を迎えます。この意義深い節目を迎えるにあたり、この度咲耶会は「外大 100 周年記念寄付事業プロジェクト」を立ち上げました。

これは、大阪大学未来基金「箕面新キャンパス整備事業」への寄付を咲耶会として募り、ご寄付いただいた方には、なんと!なんと!返礼品として外大 100 周年記念グッズをお送りするというものです!皆さまからいただいたご寄付は、必要経費を差し引いたうえで咲耶会が責任を持って大阪大学未来基金に寄付いたします。



どうですか? もうこれは寄付するっきやないでしょう! ご寄付で新キャンパス環境を充実させて外語生を応援し、グッズで母校愛をはぐくんでくださいませ!

グッズは、外大および阪大外国語学部のロゴや箕面キャンパスをモチーフにしたデザインつきです! このプロジェクトでのご寄付を逃すと二度とこのようなグッズは手に入りません。現在予定しているグッズは、下記写真左からマスキングテープ、トートバッグ、T シャツ、パスポートケース、ストール、ネクタイなど、そして原画プリントというラインナップです。ご寄付金額によって受け取れるグッズが異なります。なお、ご寄付は全てオンラインで受け付けます。詳しくは、「外大 100 周年寄付事業プロジェクト」の web サイト < <https://www.sakuya100.com/> > をご覧ください。

キャンパス移転と周年記念事業につきまして

皆さまご承知の通り、2021 年 4 月に、現箕面栗生間谷から箕面新船場にキャンパス移転いたします。現在、研究講義棟の建設工事が着々と進んでおります。このことに関連する行事としましては、下記の通り予定しております。

❖ 2020 年 12 月 6 日 (日): 「ありがとう&さようなら箕面間谷キャンパス (通称: ありさよ)」
40 年以上にわたって私たち外大生・外国語学部生を育ててくれた現キャンパスへの感謝の気持ちを込めて、最後に懐かしの「間谷祭」のような楽しいお祭りをしようという企画。語劇祭も併催、12 月 5 日 (土) と 6 日 (日) の予定。

❖ 2021 年 4 月 1 日 (木): 「開学記念式典」
西尾総長、全理事、全部局長をはじめ、歴代の阪大総長、旧外大学長も出席される予定。咲耶会からは、相談役、会長・副会長が出席予定。式典後に「内覧会」も予定。
また、周年記念事業につきましては、下記の通り予定しております。

❖ 2021 年 5 月 1 日 (土): 「大阪大学 90 周年・大阪外国語大学 100 周年」記念式典
グランキューブ大阪にて、式典および大阪大学管弦楽団による記念演奏会を予定。

❖ 2021 年 7 月 10 日 (土)、11 日 (日): 「夏まつり」& 「語劇祭」→ 「国際フェスティバル (仮称)」
新船場の繊維組合の方々、まちづくり協議会の方々、箕面市国際交流協会の方々等、箕面市のみなさんにもステーキホルダーとなっていただき、協働して大々的な開学記念イベントとする予定。

❖ 2021 年 11 月 13 日 (土): 「大阪外国語大学 100 周年記念国際シンポジウム」& 「司馬遼太郎記念学術講演会」
基調講演者として多和田葉子氏を予定。あとお一人かお二人のゲストにも加わっていただき、多言語使用や異文化理解など「外大」にふさわしいテーマでの討論も。

❖ 『大阪外国語大学 100 年史』の刊行
2021 年 5 月 1 日の記念式典に合わせて刊行予定。

なお、ここでご紹介した催しや計画につきましては、コロナ禍の影響で変更を余儀なくされることが十分考えられます。オンラインでの開催になるかも知れませんが、外国語学部 HP や咲耶会の HP でご確認くださいませ。

大阪大学外国語学部長 竹村景子

※大阪大学箕面新キャンパス紹介動画は右の QR コードから見られます。または YouTube で「大阪大学箕面新キャンパス」と検索してください。

令和元年度 決算報告 (令和元年 7 月 1 日～令和 2 年 6 月 30 日)

	決 算	(単位: 円)
収 入	入会金収入	1,575,000
	年会費収入	4,467,000
	賛助金収入	2,494,000
	咲耶広告収入	514,000
	名簿及年史収入	12,400
	総会収入	351,000
	雑収入	171,714
	合計	9,585,114
支 出	援助金	447,062
	事業費	1,418,233
	運営費	4,075,324
	咲耶作成費	2,654,407
	咲耶通信費	1,822,796
	咲耶振替手数料	13,873
	大阪外大創立 100 周年記念事業寄附金	10,000,000
	大阪外大創立 100 周年記念事業費※	330,000
合計	20,761,695	
収支差額		-11,176,581

期首正味財産 (前期より繰越)	45,934,140
期末正味財産 (次期へ繰越)	34,757,559

※予算に計上されていなかったため、会長・副会長全員の承認を得て、次年度予算に計上される予定であった費用の一部を前倒しで支出した。

令和 2 年度 予算案 (令和 2 年 7 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日)

	予算案	(単位: 円)
収 入	入会金収入	2,000,000
	年会費収入	4,500,000
	賛助金収入	2,400,000
	咲耶広告収入	456,000
	名簿及年史収入	12,400
	総会収入※	0
	雑収入	132,000
	大阪外大創立 100 周年記念事業寄附金	7,000,000
合計	16,500,400	
支 出	援助金	500,000
	事業費	840,000
	運営費	4,190,400
	咲耶作成費	2,500,000
	咲耶通信費	1,800,000
	大阪外大創立 100 周年記念事業寄附金	3,500,000
	大阪外大創立 100 周年記念事業費	3,170,000
	合計	16,500,400
収支差額		0

期首正味財産 (前期より繰越)	34,757,559
期末正味財産 (次期へ繰越)	34,757,559

※新型コロナウイルス感染症の流行により、咲耶会の活動全体に不確実性を伴う。総会収入が 0 円となっているのは、感染防止のため懇親会を中止したことによる。

令和 2 年度 咲耶会総会の開催について

本年度の咲耶会総会については、母校創立 100 周年の前夜祭といたしたく、準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の流行という予想外の事態に直面し、再考を余儀なくされました。

8 月 2 日の咲耶会幹事会に諮り、慎重に検討した結果、講演会、懇親会を割愛、議案の審議に絞り、下記の要項で総会を開催することになりました。会員の皆さまには、ご了承くださいませよう、何とぞよろしくごお願い申し上げます。

日 時: 令和 2 年 10 月 25 日 (日) 午後 2 時～3 時
会 場: 大阪大学中之島センター 講義室 703
(新型コロナウイルス対策による定員 35 名)
大阪市北区中之島 4-3-53 TEL 06-6444-2100

アクセス: 京阪中之島線「中之島」駅より徒歩約 5 分
阪神本線「福島」駅より徒歩約 9 分
JR 東西線「新福島」駅より徒歩約 9 分

議 案: 第一号議案 令和元年度決算および会計監査報告
第二号議案 令和 2 年度予算案
第三号議案 令和 2 年度本部役員選任

その他: 第一号議案と第二号議案については、上記、決算報告書と予算案をご参照ください。

参加ご希望の方は、同封のはがきにてお申込みください。オンラインにより参加することも可能です。はがきにメールアドレスをご記入ください。後日、URL をご連絡します。咲耶会会則「第 5 章 会議」により、委任状による出席も認められています。

〈議決〉
第 27 条 総会の議事は、出席正会員・準会員および特別会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。

〈委任状出席〉
第 28 条 総会にやむを得ない事由により出席出来ない正会員は、委任状を提出して前条の議決に参加することが出来る。その場合、委任状を提出した正会員は、出席したものとみなす。

令和元年度 大阪大学 司馬遼太郎記念学術講演会



主催：大阪大学
協力：産経新聞社
後援：司馬遼太郎記念財団
協賛：咲耶会（大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会）

テーマ： 「戦国のサムライ」

【第1部】 朗読 司馬作品から ビブリオバトル

大阪大学の学生による、司馬作品(小説)の
紹介と質疑応答

【第2部】 講演 「大航海時代と織田信長」

小説家 安部龍太郎

総合司会：小川真由(アナウンサー)

令和元年10月25日、大阪大学豊中キャンパス大阪大学会館(旧イ号館)講堂にて、毎年恒例の司馬遼太郎記念学術講演会が催された(主催：大阪大学、協力：産経新聞社、後援：司馬遼太郎記念財団、協賛：咲耶会)。今回は「戦国のサムライ」をテーマに、阪大生によるビブリオバトルと、小説家の安部龍太郎氏による講演が行われた。

ビブリオバトルとは知的書評合戦とも呼ばれ、発表参加者が読んでほしい本を5分以内で紹介し、投票でどの本がいちばん読みたくなったかを競うコンテストである。今回は戦国時代を描いた司馬作品を阪大生五人が紹介した。

経済学部1年の石井天晴さんは『夏草の賦』をとりあげ、主人公長曾我部元親の臆病さを自覚した行動指針に共感すると述べた。法学部4年の小城英暉さんは『城をとる話』をとりあげ、城主から城主へと渡り歩く軍師車藤左のカリスマ性について語った。文学部3年の相川大知さんは『軍師二人』をとりあげ、真田幸村と後藤又兵衛という二大英雄の関係が描かれた作品の魅力を訴えた。文学部3年の今坂朋彦さんは『戦国の女たち』をとりあげ、司馬作品には珍しい女を描いた作品について熱く語った。文学部4年の吉澤林助さんは短編小説『けろりの道頓』(短篇集『おれは権現』所収)をとりあげ、道頓堀をつくった安井道頓という人物の内面を掘り下げる司馬文学特有の面白さについて述べた。

続いて小説家の安部龍太郎氏が「大航海時代と織田信長」と題する講演を行った。安部氏は1955年福岡生まれ、東京都大田区役所に勤務後、図書館司書を務めながら創作活動を行ない、1990年に発表した『血の日本史』で作家デビュー、2005年には『天馬、駆ける』で第11回中山義秀文学賞を、2013年には『等伯』で第148回直木賞を受賞した。またエッセイ『信長はなぜ葬られたのか 世界史の中の本能寺の変』では戦国時代の事件を世界史的な視点から読み解くなど、優れた歴史観をもつ著述家としても知られる。



安部龍太郎氏

安部氏は大坂の陣から話を切り出し、一般的には徳川が豊臣を包囲したとされるこの事件が実際にはキリシタンの最初の反乱だったのではないかという仮説を述べた。真田幸村も後藤又兵衛も千姫もいずれもキリシタンであったという説がある。大坂夏の陣はいわば第一の島原の乱であった。豊臣側にわずかにひと月で十万もの軍勢が集まったのも洗礼親を軸とするイエズス会の軍事的ヒエラルキーが作用していた可能性がある。この背景には大航海時代という当時の世界情勢を見しておく必要があるだろう。

当時の日本にとって大航海時代とは鉄砲伝来、南蛮貿易、キリスト教伝来といった事件と軌を一にしている。世界へ渡っていったヨーロッパ人、その中心にいたのはスペインとポルトガルである。彼らの世界進出の目的は基本的に二つ、すなわちキリスト教の布教と財源確保であった。ポルトガルはゴアからマカオへ、スペインはフィリピンへ進出し、現地で当時は金並みの価値があったと言われる丁香等の香辛料の交易のルートを築き、その財源を確保する。さらに、純度の高い銀を安定的に産出する日本を交易ルートに巻き込めば、東アジア経営を、さらに盤石なものとする事ができる。その鍵が鉄砲製造だった。

実は、戦国時代、鉄砲やその銃弾に使用される鉛の7割は海外産だった。海外産のうち4割が朝鮮半島産、6割が東南アジア産だった。ほかにも銃身内部に使用される軟鋼等、鉄砲生産に必要な資源と製造技術をポルトガルは一手に握っていた。



種子島に鉄砲プラントを建造することで日本全土の武将たちに鉄砲を売り、代わりに植民地からの資源を提供、その見返りに日本国内の銀資源を輸出させるとというのがポルトガルが描いた青写真である。

そしてザビエルなどのイエズス会宣教師たちの目的も布教だけではなく、ポルトガルやスペインとの貿易ルートを築くことでもあった。逆に信長のような戦国大名にあつては、鉄砲製造ラインを確保するには南蛮貿易ルートを支配する必要があった。信長は敦賀で中国経由の南蛮貿易ルートを押さえていた浅倉氏を攻め、黒潮ルートを仕切っていた紀州の根来衆を攻めたが、これは一種の貿易戦争であったといえよう。ポルトガルは信長に鉄砲のみならず戦術も提供している。それはテルシオ戦法と呼ばれる長槍とマスケット銃を組み合わせたヨーロッパの技術で、弾込めのあいだに槍衾をつくり敵の侵入を防ぐものだ。桶狭間の戦いで三間半もあったといわれる信長勢の槍の長さはこれで説明がつく。

ところでこの桶狭間の戦い、後世の史家や軍人により盛んに引き合いに出されて、今に至るが、そこでしばしば言われる「迂回襲撃」作戦は誤った歴史認識である。大量の鉄砲を用いた桶狭間の戦いでいったいどれだけの銃弾が必要とされたか。一日で数十万発である。それをどこでどのように製造し、どのようにして戦地まで運搬するのか。陸軍参謀本部は明治32年に『日本戦史』を刊行、これを教科書代わりに、桶狭間の現実を理解せぬまま、誤った歴史認識に基づいて現実的ではない作戦行動を過去の模範と仰ぎ、結果的に、大東亜戦争におけるインパールのような愚劣極まる作戦で多くの尊い人命を失わせた。戦国武将なら誰もがリアルな戦略として肝に銘じていた兵站(ロジスティック)を無視するのは近代日本の歴史教育における致命的欠陥である。大東亜戦争でも兵站はほとんどが現地調達であったため、戦地の住民に多大な被害をもたらしたばかりか、日本軍兵士に大量の餓死者を出す結果をもたらした。自分たちの生活や行動を支えている資材、食料、人間関係が国境を越えた外国にまで広がっているという現実を日本の教育は今なお等閑視しているかもしれない。逆に、戦国時代は、頭のいい武将ほど積極的にスペインやポルトガルから来た異人と交流し、彼らと現実的で功利的な関係

を取り結ぼうとした。世界との関係の持ち方という観点からすれば、むしろ戦国武将に見習うべきことは多いだろう。

以上、ユーモアたっぷりの安部氏の講演は、盛況のうちに終了、その後、ビブリオバトルの投票結果が発表され閉会とな



った(チャンプ本：吉澤林助さん、準チャンプ本：石井天晴さん)。平日の夕刻であったにもかかわらず、会場には多くの聴衆がかけつけ、京阪神における会の定着ぶりがうかがえた。



(文責：松本健二) (写真提供：大阪大学共創推進部社会連携課)

令和2年度 大阪大学 司馬遼太郎記念学術講演会のお知らせ

今年度のお大阪大学司馬遼太郎記念学術講演会は、新型コロナウイルス感染防止のため、例年とは異なり、講演会、ビブリオバトルともウェブ上で11月の中旬ないし下旬に開催する予定です。ビブリオバトルのテーマは「日本の来た道(予定)」で、小説と『街道をゆく』が対象となっています。詳細は、大阪大学または咲耶会のホームページをご覧ください。

コロナによるマニラの「厳格な」都市封鎖

澤田公伸
(大 IN37) (院 IN23)



マニラ首都圏はコロナ対策として3月15日から都市封鎖に入った。2日後の17日からルソン島全域に拡大、セブ市やダバオ市など他の主要都市にも拡げられた。世界でも最長の都市封鎖と言われており、6月1日に緩和されたものの、夜間外出禁止や一部公共交通機関の凍結、レストランやホテル営業の制限、企業の部分的操業など、様々な制限が継続中だ。

首都圏に住む筆者は、封鎖初日からジブニーや首都圏鉄道(MRT)、バスやタクシーなどの公共交通機関が一斉に消えたことに驚いた。いつも朝から渋滞する大通りが閑散とし、露天商もなく、ファストフード店も閉まって別世界のよう。大型モールもスーパーだけ開店、それも買い物客たちが入り口で長蛇の列。空の玄関口、マニラ空港と地方都市を結ぶ国内便もストップし、フィリピン人や外国人の旅行者が各地の空港やホテルで足止めを食らった。強硬的な政策で知られるドゥテルテ大統領の指示で警察や国軍部隊が首都圏の各地に検問所を設置。1970年代のマルコス戒厳令期よりも長時間となる午後8時から午前5時までの夜間外出禁止令も施行。外出許可証が発行され、日中でも1家族から一人しか買い物など外出できない厳格な隔離措置を取った。規制違反で全国で4万人以上も逮捕された。

6月初旬から規制が徐々に緩和、理髪店が開き、レストランの店内飲食も稼働率50%以下で再開。MRTやバスも部分運行を再開したが、6月23日現在、庶民の足だったジブニー(小型乗合バス)の運行がまだ許可されておらず、通勤者はまだ少ない。政府は今回の都市封鎖を契機に、エアコンやデジタル決済機能付、排ガス規制を遵守した新型ジブニーを導入するチャンスとみているふしがある。縦横無尽な運転で公害や渋滞の原因とされながら道路の王様と親しまれたジブニーが復活できるのか。マニラ市民の大きな関心事と言っていいたい。



首都圏マンダレーヨン市でまだお蔵入りとなっているジブニー車両たち

實亜里紗
(阪大 C3)



大家好(皆さんこんにちは)！
咲耶会北京支部は、四半期に一度を目途に、駐在員・現役学生合計約20名が現地料理の並んだ食卓を囲み、親交を深める機会としております。

北京には中国に進出している日系企業のヘッドクォーターが多く存在しており、多数の駐在員が中国市場を相手に日々ビジネス展開しています。また北京大学・清華大学・北京語言大学など、阪大と親交の深い留学先も多く、当地の咲耶会はベテラン駐在員から現役学生まで、多様な参加者が大阪大学の思い出を語り合う機会となっています。このような「縦のつながり」を、中国で得られる咲耶会の「縁分」(中国語でご縁の意味)に感謝しています。また東京外大と合同の懇親ゴルフコンペも年に

数回定期的実施しており、大学間の「横のつながり」も大切にしています。

今は新型コロナウイルスの影響で、懇親会は一時的に自粛中です。他方、中国ではコロナをきっかけに、マスク着用時の顔認証技術や、無人小型配送車の普及など、新テクノロジー展開が加速度を増し、ライフスタイルの急速な変化を実感しています。仕事の会議や大学の授業もオンライン上で開催されています。オンラインとオフラインの融合は、時間・場所の制限を超越し、人同士のつながり方が、新しい定義とされる時代になってきました。

ですが、やはり言語を専攻した身としては、人同士の交流は対面してこそ、暖かみを感じられものであると思っています。一日でも早くコロナウイルスが収束し、同窓のご縁を頂いた皆さまと一緒に、懐かしい学舎の思い出に花を咲かせる日を心待ちにしています。

ニューヨーク

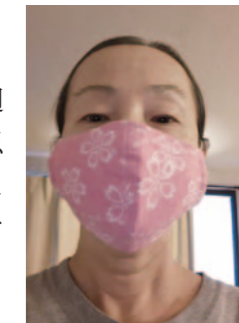


3月初めに NYC 郊外で初めての患者が見つかり、瞬間に一日に800人近くが亡くなる事態、Hot Spot となった NY。私は3月初旬から在宅勤務となっていました。中旬に州知事から NY Pause の宣言が出され、必需品を取り扱う業種、飲食店(配達、又は店頭での受け渡しのみ)以外は全て閉鎖、必需品の購入、最低限の運動等以外の外出は控える。Stay at Home! 美術館も音楽会もすべて Pause。10人以上の集まりは禁止。同居人でない人と接触して、感染する事または知らずにうつしてしまう事を避ける為です。

そもそも米国では風邪や花粉症でマスクをする習慣が無く、マスクをするのは不審者、若しくは何か悪い病気でも?と思われていました。その為マスクをしているアジア人が襲われたりする事もありましたが、無症状の人から感染する事例が報告され、無症状の保菌者の飛沫を防ぐと言う、マスクの有用性が話題になります。NY Pause では、公共の場所で他人と6フィート(1.8M)以内に近づく状況では、顔を覆う事が(facial covering)推奨(この時点では)されました。

知事の仰せに従い、次第にマスクをする人が現れ、私も日本から持って来た物や友人が作ってくれた物を使い始めました。3月から4月の初めにかけては、コロナが怖いと寒いとで殆ど外出せず、携帯しておいて店に入る時に使う程度でした。この頃は人も車も少なく、平時には人で溢れかえるタイムズスクエア、咲き始めた桜

石田佳子
(大 D29)



を観ようと出掛けて行ったセントラルパークは閑散として、怖い程。30年以上前こちらに来た頃、週末は人通りが無く怖かったのを思い出しました。暖かくなると共に人が街に増え、知事はテレビでマスクの重要性を毎日訴えました。「自分の為で無く貴方の愛する人の為に!医療用のマスクは医療関係者に優先、一般市民は布で覆うだけでも良いから。」マスク推奨の広告コンテストも行われました。

5月には CDC(疾病予防管理センター)も facial covering を推奨し始め、遂に NY 州は公共の場所で他人と6フィート(1.8M)以内に近づく状況では、マスク、又は facial cover の着用を義務化しました。建物に入る際にも No Mask, No Entry。私はアパートのビル内で郵便物を取りに行くのにもマスクをします。

6月になると流石に暑くなり、この季節にマスクをして歩くのは、呼吸を意図的にせねばならない為、体力を消耗する気がします。辛い!一日しておられる医療関係者その他の方々には頭が下がります。色々な企業がマスク生産開始、関係なさそうな業種の店先にも「マスクあります」のサイン。僅か3か月程でマスクがすっかり普通の光景となった NYC、意外な柔軟性には驚きと共に誇りを感じます。

NY 州は着用が義務ですが、他州では州知事が反対、州知事は推奨しても郡が従わない、自分は大丈夫と全く無視する、権利の侵害だと主張する。様々な状況の下、再開を始めた州で罹患者数が増えています。今後どう進んで行くか先が見えませんが、私はしっかりマスクをして出掛けます。

「かっぱ天国ベトナムの天国のかっぱを世界の病院へ!」 中本修一 運動報告

(開発・環境大 48)

2020年4月15日、恩師のベトナム語科富田先生から一通のメールが届いた。コロナ禍で防護服が逼迫している日本の医療現場向けにベトナムの「雨合羽」を送れないか検討して欲しいとのこと。ちょうど大阪市役所が雨合羽の無償提供を呼び掛けていたことから、初回送付先を「大阪市役所」と定め、雨合羽調達を勤務先総務課に依頼。仕事外の依頼にも関わらず、快く引き受けてくれ、1着6,000ベトナムドン(約30円)で100着調達出来た。物資は無事確保したものの、今度は雨合

羽をどうやって日本に送付するかという問題に直面することに。既にベトナム政府は「社会隔離政策」というロックダウンを実施しており、事実上の鎖国状態。日本向けフライトも大幅減便となっており、EMS(国際スピード郵便)に確認するも、引受は難しいとのこと。何とか富田先生主宰の「一般社団法人ベトナムリスト・



クラブ」メンバーの紹介で送付引受業者が見つかり、集荷3日後に、大阪市役所にベトナムの雨合羽100着が無事到着した。

その後も、ベトナム語科卒業生ネットワークを中心とする病院紹介により、活動期間2か月の間に雨合羽500着、防護服440着が海を渡り、全国の7病院に届けられた。(送付先: 阪大病院、兵庫県2病院、京都府3病院、東京都1病院)特に防護服に関しては、当地国内需要も高く調達に困難を極めたものの、ハノイ外語会メンバーの力により何とか入手。

運動開始2か月後、日本国内での物資調達が安定してきたことから、本「雨合羽運動」は一旦終了したが、ベトナム語科卒業生やベトナムист・クラブメンバーから寄せられた本運動への寄付金は100万円超に。前後したが、「かっぱ天国ベトナムの天国のかっぱを世界の病



院へ!」は富田先生が命名。交通手段が二輪車中心の当地では、突然の雨に備えるべく「雨合羽」が必ずバイクに積まれており、まさに「かっぱ天国」。

当地ベトナムは、感染拡大前の国境封鎖や政府による徹底した感染拡大防止策により、本原稿を書いている6月28日現在、感染者数355名(うち330名が回復)、死者0名という全世界的にも数少ないコロナ封じ込めに成功している国の一つ。医療水準が決して高くない当地において死者0名というのは、2003年のSARS(重症急性呼吸器症候群)流行時の経験が活かされたことに加え、政府によるスピード感を持った感染拡大防止策が奏功した結果と言えよう。コロナ封じ込めでは成功を収めたベトナムだが、アフターコロナを見据えた景気回復策、経済の立て直しについても引き続き注目していきたい。



コロナ禍のドイツ ~規制緩和後のデュッセルドルフの様子~

山本佑子
(阪大 D5)

私はドイツ西部の都市デュッセルドルフに住んでおりますが、コロナウイルスの影響はもちろん、ドイツでも大きく、この記事を書いている7月上旬時点で感染者は累計20万人弱、死者は9000人超えといった状況です。特に3月下旬から5月中旬あたりにかけて、あらゆる店やレストランは閉店し、私個人も3月末から6月中旬まで2シフトのホームオフィスで仕事をする日々でした。

5月半ば以降規制はだんだんと解除され、店内でのマスク着用や消毒の徹底といったいくつかの条件のもと、ほとんどの店・施設が再び開くようになっています。今までは普段からマスクをすることなど、ドイツでは考えられませんでした。現在は公共交通機関、及び店内でのマスク着用が義務化されているため、パンデミック以前では考えられなかったような光景が街に広がっております。この状況がいつまで続くかは分かりませんが、今後旅行や出張で日本、及び他の国からドイツへ



来られるようなことがあれば、以前との差にびっくりされることもあるかもしれません。

一時期に比べれば感染者の増加など落ち着いてはきたものの、デュッセルドルフのあるノルトライン・ヴェストファーレン州内で大規模なクラスタ

ーが発生するなど、なかなか予断を許さない状況が続いております。特に今はドイツ含めヨーロッパ全体が本格的に夏季休暇の時期に入ったため、引き続き注意が必要かと思われます。

日本、そして世界中におられる皆さまもそれぞれの場所で厳しい状況が続いているかと推測しますが、どうか健康にはお気を付けて、くれぐれもご自愛ください。そして早くコロナウイルスが収束することを祈るばかりです。



「特集」留学体験記

最後の1日まで。
そしてこれからも。

サントス

2019年8月末から2020年6月末まで約10か月間ブラジルのサントスという港町で、日本語教師としてブラジル人に日本語や日本文化を教えるインターンをしました。

到着して3日後から何が何だかわからないまま一人で授業をし、始まった留学生活。おせっかいなブラジル人に囲まれて、休む間もなくいろいろなところに連れ出してもらい、幸いにも孤独を感じることは一時もありませんでした。

勤めていた学校は、1908年に第一回移民船がサントス港に着岸してから、日本政府の援助を受けながら1930年に建てられた歴史ある日本語学校です。日本移民100周年の2008年には皇太子さまがご訪問されており、地球の裏側でありながら、日本にいるときよりも日本が近い、そんな不思議な感覚になる場所でした。今では、非日系が増え、150人以上の学生がいます。着いてすぐ、日系社会と日本語学校の規模の大きさに唖然としました。最も規模の大きさを感じたのは、文化祭をはじめとした多くのイベントです。イベントは、全てボランティアによって行われ、日々会議を重ねて夜の12時まで学校に残ってみんなで準備します。日本の文化を守るために、体力と闘いながら全力を注いでイベントを作り上げるボランティアの姿に何度も胸を打たれました。昔の日本にタイムスリップして、今の日本にないものを見ている気がして、一つ一つ目の前で起こっていることを噛みしめながら活動していました。



日本語学校の学生たちと

様々な経験をさせていただく中でも、集大成となったのが、大阪大学日本語専攻の学生を受け入れたツアーです。日本語専攻の先輩や後輩に、ブラジルを好きになってほしいという思いを詰め込んだツアーが、いろいろな形で様々な人に届くのを目の前で見られた本当に幸せな1週間でした。また、普段授業外でポルトガル語でしか話してくれない恥ずかしがり屋の学生たちが一生懸命日本語で話しているのを見て、こみあげてくるものがありました。

このツアーが終わってまもなく、ブラジルでもコロナウイルスが拡大し始め、学校も3月から休校を強いられました。

しかし、ここで諦めて帰りたい!と奮起し、翌日から先生たちと会議を重ね、なんとかオンライン授業の体制を整えました。自粛期間のストレス発散になるような楽しい授業をするために、日本の音楽を授業に取り入れるなどの工夫を重ねました。しかし授業は継続できたものの、家庭の経済状況の悪化から、辞めざるを得ない学生が出てきてしまいました。そんな中でも、みんなに日本語学習を通して



松下莉子

日本語専攻
(専攻語ポルトガル語)3年

コルコバードのキリスト像(リオデジャネイロ)

楽しさを感じ続けてほしいと思い、辞めた学生やボランティアも参加可能な様々な取り組みをしました。日本とブラジルをZOOMで繋げてブラジル人と日本人がオンラインで話すお喋り会、日本人を審査員に迎えたスピーチコンテストや、YouTubeでのライブ動画配

信などです。SNSを通じてですが、学生たちとお話ができ、私自身充実した自粛期間を過ごすことができました。結果、辞めた学生も含め多くの学生に帰国後も続けてほしいと言われ、YouTubeに関しては、視聴回数が延べ千回を超え、日本やペルーからも観ていただき、日本語学校を超えた様々な人に楽しさを届けることができました。

最後の一日までこうして活動できたのは本当にありがたいことでした。そして、次の学期からも日本からオンライン授業を行えることが決まり、まだまだ私の「ブラジル生活」は続きます。このような選択肢を得られたのもコロナによる自粛生活があったからです。諦めなければならなかったことはたくさんありましたが、代わりに得られたこともたくさんありました。この恵まれた状況に感謝して、帰国後もサントス日本人会日本語学校に関わり続けたいと思います。そして、またいつか、心の距離が近くて愛が詰まったこのブラジルに、戻ってきたいと思ひます。

そして、またいつか、心の距離が近くて愛が詰まったこのブラジルに、戻ってきたいと思ひます。



マイノリティとマジョリティ

～圧倒的な立ち位置の差をどう乗り越える？～

岩城あすか (大TR45)

私が卒業する頃は就職氷河期だったこともあり、この際だからトルコで言語をマスターしようと、1997年の夏からイスタンブール大学(院)へ留学した。

私費留学のため、マスコミの通訳やコーディネーターをしたり、現地駐在の日本人にトルコ語を教えたりという生活だったが、修士2年になる直前の1999年8月17日にマグニチュード(M)7.6の大地震が、同年11月12日にはM7.2の大地震がトルコ北西部を襲ったことは一つの人生の転機となった。通訳として何か月も被災地をたびまわるうちに、神戸の市民組織とつながった。7千万円もの義援金を集め、いくつかの被災地で復興支援活動を行うという。以後2001年12月に帰国するまで、仮設村の運営や文化センターの設立など、週末になるとあちこちの現場にボランティアで通い、長期にわたって言葉や文化の通訳を担った経験は、トルコの行政や(クルド人など)マイノリティへの抑圧の構造を深く理解することにつながった。



また在学中は、「在日韓国朝鮮人問題研究会(のちに『在日外国人との共生を考える会』に改称)」に所属し、外国にルーツのある子どもたちへの学習支援活動を4年ほど続けた。日本国内の外国人問題についてもじっくりと勉強し、足元の課題の深刻さを痛感したが、一人でできることの限界にも気づかされた。(このサークルのつながりから、自宅で自立生活をおくる重度の身体障害者であり、自ら障害者だけの劇団を主宰している金満里さんの介護活動にも入るようになった。

今では劇団の発行する情報誌の編集もやっており、障害者と健常者の関係性についてもよく考えさせられる日々だ。

2003年、留学中に知り合った夫を日本に呼び寄せたが、現地では腕の立つパティシエだった彼が、言葉や文化がわからずストレスに翻弄される姿を見て、この国で暮らす外国人のしんどさを常に間近で感じてきた。いろんな社会の矛盾に直面する中、2005年に現在の職場(箕面市国際交流協会)の事務局長の公募に手を上げたら採用された。地域には多くの外国人が少数点在で暮らす中、彼らが互いに知り合い、つながりあえる拠点づくりに力を入れてきた。2013年度にオープンし、外国人が日替わりシェフとなり家庭料理を提供する「コムカフェ」は、韓国、中国、モンゴル、ロシアなど、様々な国の人で運営され、外国人が主役となり、安心してチャレンジできる場となっている。関わる人たちが自尊感情を取り戻し、日本語がどんどんうまくなる姿を目の当たりにすると、マイノリティの居場所やコミュニティづくりの大切さがよくわかる。

国籍、宗教、世代が異なる者同士、価値観は様々。仕事のやり方を巡って衝突することもよくあるが、そんなときは、これまでの経験が役に立つ。誰がどのようなマイノリティなのかを常に考え、マジョリティ側は自分の言い分をぐっと抑えること。それくらいしてやっと、皆が少しずつ譲歩し合う関係性が築けるようになる。圧倒的な立ち位置の差を意識しつつも、互いへのアプローチはあきらめない。多くの人を巻き込みながら、これからも一緒に面倒くさいことをやり続け、社会の不条理に抗っていきたい。

プロフィール

岩城あすか(箕面市立多文化交流センター館長)



1997年にトルコ語科を卒業後、イスタンブール大学社会科学研究所に留学。通訳やマスコミのコーディネーターをしながら、1999年におきた「トルコ北西部地震」の復興支援事業にもボランティアとして関わる。2005年度より現在に至るまで、(公財)箕面市国際交流協会に勤務。重度の障害者のみで構成される劇団「態変」の発行する情報誌「イメージ」の編集にも携わっている。2018年度より朝日新聞のWEBオピニオン媒体「論座」執筆者(政治・国際分野)、2019年度より(一財)自治体国際化協会の多文化共生アドバイザーも務める。

人生を変える出会いを

アナウンサー 谷口菜月 (阪大V3)

大学2年の春、新大阪にある生田教室というアナウンス学校に入った。恩師に出会った。アナウンス技術だけでなく、礼儀や人間関係の作り方、社会の荒波をどう泳いでいくか…先生から学んだことが、私の人生の羅針盤となった。

10社以上のテレビ局を受験した末、2014年、最初に内定したチューリップテレビ(富山県・TBS系列)に入社した。地方局のアナウンサーはテレビに出ることだけが仕事ではない。事故や災害、スポーツなど分野問わず現場へ行き、原稿を書く。映像の編集もする。

3年目の春、局の方針で記者の仕事ばかり割り当てられた。自分の言葉で語れる報道キャスターになるための布石だったが、当時の私は不貞腐れた。アナウンサーなのに、なぜ原稿ばかり書いているのか。そんな私に恩師は言った。「アナウンサーであるといううっけなプライドは捨てなさい!」。——記者の仕事に専念した。富山市議会の政務活動費不正問題など、全国的に取り上げられるニュースの取材もした。現場で見たものや感じたことを自分の言葉で紡いでいく作業は、今の仕事にも生きている。どんな仕事もまずは3年、置かれた状況で一生懸命やるのが大切だ。

夕方の報道番組のキャスターを務めた後、2018年、チューリップテレビを退社し、フリーアナウンサーとして東京に出た。自分がどこまでやれるのか挑戦したかった。しかし、待っていたのは想像よりはるかに厳しい世界。星の数ほどアナウンサーがいる東京で、私が大事に抱えていた「地方局での4年間の経験」という武器は、いわば割ればし鉄砲くらいの戦闘能力しかなかった。自分は何者でもないという現実を、はっきりと突き付けられた。

それでも腐らなかつたのは、東京にも導いてくれる恩師がいたからだ。師匠のもので、発声から考え方まで一新した。アナウンサーとしてやってきたという虚栄心を打ち消した。新しい世界に飛び込むなら、過去にすがってはいは吸収できない。おかげさまで、今は毎日この仕事をさせて頂いている。



みなさんは、就職に何を求めるだろうか。企業の知名度、高収入、安定性、専門性。これからの時代も残りそうな職種か、あるいは、定時で帰れる職場だろうか。選択において色んな物差しがあると思うが、私はやはり「好きなこと」を基準にしてほしい。

新型コロナウイルスのような世界を揺るがす事態も起こる。当たり前が当たり前でなくなった時、どんな仕事も不安定だ。どんな仕事だってしんどい。それならば、好きなことを生業にしよう。目先の利益に囚われず、せっかくの一度きりの人生、苦勞してでも納得のいくスタートを切るべきだ。

最後に、今の私があるのは2人の恩師をはじめ、これまで多くの人々に支えて頂いたからだ。とくに、人生の先輩の知識と経験は尊い。礼儀正しさをもって、素直に耳を傾けてほしい。生涯の師に巡り会えたら、人生はきっと豊かになる。大阪大学で学んだ一人の先輩として、私の言葉がいつか、あなたの心の中で発芽すると嬉しい。



職歴

2014年、大阪大学外国語学部ベトナム語専攻卒業、アナウンサーとしてチューリップテレビに入社(富山県・TBS系列)。夕方のニュース番組(月～金)キャスターや報道記者として4年間の勤務を経て、2018年、東京でフリーアナウンサーに。現在はFM yokohama、ビジネス・ブレイクスルーなどに出演中。故・高橋圭三の事務所「圭三プロダクション」所属。

フィリピン語専攻の今 宮脇聡史

大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻 教授
外国語学部 フィリピン語専攻代表

フィリピンは英語が公用語で、最近ではフィリピン人講師によるオンラインでの英語学習やフィリピンへの語学留学が日本でも人気です。他方で国民の間では国語であるフィリピン語の普及が進んでおり、学校教育、マスメディアを通じて、また海外在住フィリピン人コミュニティの共通語として、急速に存在感を高めています。



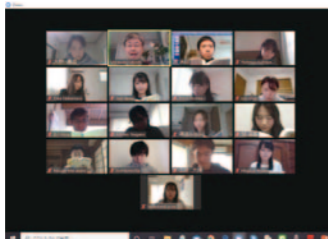
今年1月、フランス人のフィリピン研究者の授業視察

フィリピン語専攻は毎年10数名の学生を受け入れ、最初の2年間のフィリピン語、フィリピン地域研究の基礎教育を土台として、実践性の高い教育を行っています。フィリピン人特任教員を含め教員5名の体制で、現地語能力を活用した多面的なフィリピン理解、フィリピンを鏡として日本や世界を理解する訓練を重ねています。現在は新型コロナウイルス対策のためもっぱらオンラインの授業ですが、その中でも活用できるものを工夫して効果的な学習、及び学生間の積極的な交流を促すよう努めてきました。

専攻内は学年内だけでなく学年を超えた学生の交流も活発です。特にこれまでは毎年2年時のクラスが語劇祭に参加してきました。また学生たちは海外渡航にも積極的で、フィリピン、アメリカなどでの留学、語学研修、実習などに多くの学生が次々と出ていきます。

専攻では卒業論文を最終目標とし、学生が自身の関心を出発点として、フィリピンやその言語に関する問題を発見し、自ら調査し、様々な資料を渉猟しながら一定の結論に達するプロセスを支援しています。卒論提出後は後輩たちも参加する試問会を実施しています。

卒業生は各界で活躍しています。フィリピンに関わり続ける人も多く、フィリピンで働いたり、フィリピン人の伴侶を得たり、フィリピン研究の道に進む人たちも輩出してきました。アジア太平洋の様々な連携が進み、急速に経済発展を遂げてきたフィリピンと日本とのかかわりも深まっていますが、フィリピン語専攻がそうした社会発展に貢献するものとなれば、と願っております。



今年4月のZoomでのオンライン授業

スワヒリ語専攻の今 小森淳子

大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻 教授
外国語学部 スワヒリ語専攻代表

スワヒリ語専攻は、1986年に独立した専攻としてスタートし、その時の新生であった竹村景子先生が、今や外国語学部長をされていると思うと、後発の専攻ながら、34年間の歴史の重みを感じさせられます。

20世紀入学のスワヒリ語専攻生にはなつかしい「宮本先生・中島先生・稗田先生体制」も、2008年に米田信子先生を迎えてから、竹村・小森・米田の「かしまし娘体制」にかわり、名実ともに「うちら陽気なスワヒリ語専攻」になっております。ネイティブ教員には、2013年からタンザニア人女性のザイナブ先生に務めていただいています。

陽気で、進取の気性に富み、アフリカから世界の問題を見ることができる、という点は、古参の卒業生から今に至るまで、どのスワヒリ語専攻生にも変わらずに培われていて、現役の学生にも脈々と受け継がれています。

1、2年生は、週5コマのスワヒリ語実習に加えて、竹村先生の調理実習からのウガリ・パーティや、夏まつり、語劇祭などを通じて、クラスの仲を深め、青春の思い出とともに、アフリカ世界に対する理解を深めています。3、4年生では、アフリカに関する授業が一気に増え、卒論に向けて、各自の関心にそってアフリカの問題に取り組んでいます。休学する学生も多く、欧米に留学したり、アフリカでボランティア活動に励んだり、またダルエスサラーム大学に留学する学生もいます。



2019年のスワヒリ語劇「アラジン」のメンバーたちと

2020年度の前期は、すべて「リモート授業」ということになり、新生たちは未だキャンパス生活を知らず、教員や上級生たちとの対面も叶わないという、前代未聞の事態になっています。最後の箕面キャンパスの1年の半分が、このような形になってしまったのは残念ですが、後期には、再び活気あふれるキャンパスに戻って皆が再会し、語劇祭や箕面キャンパスお別れ会などで、スワヒリ語専攻生たちが活躍してくれることを願っています。

卒業生みなさん、最後の箕面キャンパスに、

Karibu sana!

令和元年度卒業式

3月25日、箕面キャンパスにて、学位記授与式が行われました。

うらかな陽光のもと、この日に合わせたように桜が満開。専攻語毎に、家族的な雰囲気の中、友や恩師、1年後に移転する、懐かしい思い出の学び舎とも別れを告げました。

今春は、新型コロナウイルス感染防止のため、大阪城ホールに全学が一堂に会する式典は中止、吹田キャンパスでの卒業式には各学部・研究科の代表者が出席しました。



着任のメッセージ



大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻
フィリピン語 助教

白石奈津子
しらいしなつこ

専門はフィリピン農村部における民族間関係などの社会関係分析ですが、広くフィリピンにおける共同体的なものに関心をもって研究しています。地域を多角的に捉える視点を学生と共に深めていける環境に感謝しつつ、日々励んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻
ロシア語 助教

高橋健一郎
たかはしけんいちろう

札幌に生まれ、東京とモスクワで学生時代を過ごした後、長らく札幌の大学でロシアの言語や音楽の教育・研究に携わってきました。外大時代からの素晴らしい伝統をもつ大阪大学で優秀な学生たちと歩んでいけるのを大変嬉しく思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻
ベトナム語 助教

近藤美佳
こんどうみか

現箕面キャンパスで迎える最終年度となった2020年度に、こうして母校に戻ってこられたことを大変嬉しく思っています。自分自身が粟生間谷のキャンパスで培った「外大魂」を、時代に沿う形に刷新しつつ、次の世代に繋いでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。



大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻
モンゴル語 特任講師

マグサルジャヴ バヤルサイハン

私は、モンゴル国立大学からやってまいりましたM. バヤルサイハンと申します。今年から3年間本学で勤務することになりました。日本人が、世界のどこにもない“人のため”を思う素晴らしい社会を築き上げたことに深い敬意を表します。皆さまの信頼を負い、学生たちの意にかなうべく質の高いモンゴル語の授業ができるよう全力で邁進する所存です。

告知板

◆受勲者のご披露

●令和元年秋の叙勲

- 瑞宝中綬章 原田 武氏 (大阪外国語大学名誉教授) (大F3)
- 旭日中綬章 釜谷研造氏 (元兵庫県議会議員・議長) (大E2)
- 瑞宝小綬章 中井 隆氏 (元大阪府立高等学校長) (大C3)

●令和2年春の叙勲

- 瑞宝中綬章 濱口恒夫氏 (大阪外国語大学名誉教授) (大IP10)

◆令和元年度退職教員

- 林田理恵 言語文化研究科 教授(ロシア語)
- 山元孝郎 言語文化研究科 教授(ドイツ語)
- 安田 麗 言語文化研究科 講師(ドイツ語)

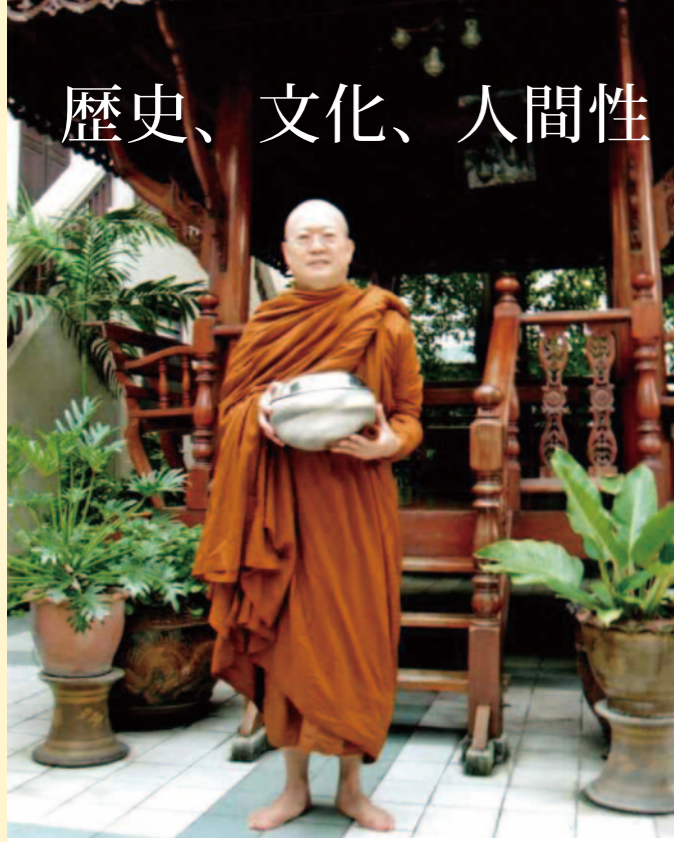
原田武名誉教授につきましては、ご受勲後、令和2年1月29日にご逝去されました。

「原田武先生を偲ぶ」

今年1月に逝去された原田先生は、精力的なフランス文学研究者であり、かつ偉大な教育者でもありました。ブルーストに関するいくつもの著作はブルースト研究者だけでなく、文学を愛する多くの読者に感銘を与え、大学での授業では厳しい語学教育と深い洞察を孕んだ文学演習とで、学生達から敬意を寄せられていました。いつも穏やかで少しシャイなお人柄と、年齢を重ねてからも常に学問的好奇心旺盛な姿勢は、静と動を合わせ持つ魅力を醸し出しておられました。天国でも研究を続けておられるような気がします。感謝とともにご冥福をお祈り致します。

大阪大学 言語文化研究科 教授 高階早苗 (大F38)

歴史、文化、人間性



タイ仏僧(仏僧名:ワラチノ)に出家

タイ留学中、タイの文化理解にはタイ仏教を学ぶべきであるとの思いでしたが、当時は実現できず、50代になって、思い立って仏僧として出家致しました。この経験はタイの理解を深める上で役に立ちました(奥が深いので触れた程度ですが)。外務省生活でタイ勤務は3回15年、その他は、米(ヒューストン)、シンガポール(APEC事務局)、豪(シドニー)及びサモアの英語圏に11年でしたが、各任地での歴史文化理解に努めました。

サモアでマタイ(首長)称号取得



2017年6月18日付 samoaobserver 紙

サモアで「マウガオリアアトロ(霊山の意)」というサモア唯一のマタイ称号取得の光栄を得ました。サモア人よりはこの称号で呼ばれていました。昨年帰朝する直前、トゥイラエパ首相より、初代大使として赴任し、サモアの人と文化を大切にしたいアプローチを高く評価する旨の特別の謝状が公邸に届けられました。

むすび

AI(人工知能)の時代において、外国語を学ぶことにどういう意義があるのか。AIにできない人間性で人と人との信頼関係を構築することを外国語を習得しながら歴史文化も学びつつ涵養することではないでしょうか。母校は100周年を迎えます。新しい試練の世界情勢が展開していく中で、果敢に挑戦していく人材を輩出する血が母校には流れていると確信しております。



前駐サモア特命全権大使 青木伸也(大TV28)

略歴
生年月日: 1953年11月12日(滋賀県)
学歴:
1980年 大阪外国語大学タイ語学科卒
1983年 チュラロンコン大学国際関係修士課程修了
職歴:
1980年 外務省入省
1981年 在タイ日本国大使館
1983年 同三等書記官
1986年 在ヒューストン日本国総領事館副領事
1989年 外務省国際報道課課長補佐
1991年 外務省南東アジア第一課課長補佐
1993年 国際協力銀行開発援助研究所エコノミスト兼課長代理
1996年 在シンガポールAPEC事務局ディレクター
1999年 在タイ日本国大使館一等書記官
2002年 在シドニー日本国総領事館領事
2005年 公益財団法人フォーリン・プレスセンター・ディレクター
2009年 在タイ日本国大使館参事官兼広報文化部長
2013年 外務省儀典官兼儀典賓客室長
2015年 在チェンマイ日本国総領事
2017年 駐サモア日本国特命全権大使



懐かしの恩師は今

師、友、そして、旅で知ったインドの人たち



桑島 昭 大阪外国語大学名誉教授 (ヒンディー語)

1966年6月に外大で教職に就く前の3年8か月、私はニューデリーにあったインド国際問題研究所(Indian School of International Studies)に在籍していました。船と自動車を利用し、23日かけてデリーに着いた5日後、インドは対外的な「非常事態」下に入り、その状態は滞在中続きました。研究所は、1960年代末には新設のネルー大学に統合され、キャンパスも移動しています。訥々と自由に語るK.P.カルナカラン先生、街角の子供たちと自然体で話すH.G.パントさん、心遣いに溢れるS.ナガラージャンさんは生涯の師、友でした。国際学生寮の部屋の掃除で2年間世話になったキールー・ラームさんと交わす言葉は、ヒンディー語を身近なものにしました。

昨年10月、研究所の図書館員であったS.アンサーリーさんのお孫さんたちが祖父母を連れてデリーの宿を訪ねてくれました。同窓のR.C.プラダーンさんとも会いました。1964年10月、私は電気も衛生設備もないビハール州の彼の村に1泊しました。星空の下で村の人たちと話したことが新たな関心への一歩になったと今は思っています。翌年11月、初対面で、1週間の村々への旅に招いてくださった当時ビハール州の野党指導者であったカルプリー・タークルさんの好意と、その旅のなかで彼が一人の農業労働者の叫びに耳を傾け、ときに静かに言葉を挟んだ収穫後の村の一場面は忘れられません。

さまざまな言語



正保富三 元大阪外国語大学教授 (英語)(大E1)

退職後もう24年経ち、88歳になりましたが、今のところ元気です。最後のときは学科の改組で英語学科から言語・情報講座に移り、舟阪晃先生のもとで学内LANの立ち上げのお手伝いをしました。

世界にはいろんな言語があり、その違いを授業で取り上げました。外大ではそれを勉強している学生諸君から寄せられた質問にこちらが教えられることが多くありました。

NHKのラジオ講座でスペイン語の吉田秀太郎先生(大学1期で私と同期)やイタリア語の藤村昌昭先生の入門編の講義はためになりました。その後、ろくに勉強しないのでものになりませんでした。教授会で顔を合わせると一層親しみがわきました。

6年前までびわこフィルハーモニーというアマチュアのオーケストラでピアノを弾いていました。プロの関西フィルハーモニーのバイオリン奏者の友永健二君(中国語)は教え子です(もちろんバイオリンではなく、英語で)。

Facebookをやっていますので、興味のある方はご覧ください。http://www.facebook.com/SAKUYAKAIが咲耶会のページですが、このSAKUYAKAIの代わりにtomizo.shoboとすれば私のページになります。

懐かしの恩師は今

EnaLloid

ENNA

Craftsmanship makes a "difference"

Ena Optical Mfg. Co., Ltd. 恵那眼鏡工業株式会社

〒508-0101 岐阜県中津川市苗木 4827-48

TEL : (0573)-67-2211 (代)

FAX : (0573)-67-2214

E-mail : info@ena-gf.jp

木曾御嶽を堪能して ～外大ワンダーフォーゲル部 60 周年 記念行事を振り返る～

外大ワンダーフォーゲル部 19期 中田典男 (大 28R)

2019年9月28日(土)、小雨模様の木曾福島駅に、総勢49名が集まった。関東からは高速バスで、関西からは新幹線と特急「しなの」を乗り継いで。一泊二日の記念行事のスタートだ。

創部は60周年だが、外大としてのワンゲル部はすでに50期で、終止符を打った。阪大との統合も含め節目に当たった50周年では、盛大に行ったが、今回は専ら親睦がメイン。現役がおらず、高齢化の一方のOB会行事は、国鉄清算事業団のようで、心持ち寂しい。

それでも、山の見えるところへ…。という思いは、同じようで、1期から42期まで、幅広い層が参加した。

集合後は思い思いに木曾福島の町を散策したり、銘酒「七笑」片手に腰を落ち着けたりと思い思いに過ごした後、御嶽が遠望できる宿泊地の木曾駒高原ホテルへ。

6時に宴会スタート。大いに盛り上がり、最後は恒例の部歌斉唱とエール。期は異なれど、脈々と受け継がれてきた伝統は変わらない。

翌日は晴れ間のある高曇りで、登山には絶好のコンディション。全員でロープウェイで六合目まで上がり、御嶽登頂組を見送る。他のメンバーも自らの体力に合わせて大いに御嶽を堪能した。やはり、山に行く、山を共にしてこそそのワンゲル部だと再認識させられた。

それから半年後、社会は一変した。



足取り軽く、御嶽山頂に向かう、登山組を見送る。長らく入山禁止だった山頂部は、つい最近になって、一部のルートが解禁されている。

ベリーダンスの魅力

大阪大学外国語学部ヒンディー語専攻2年
大阪大学ベリーダンスサークル Halaawaat 代表

北岡沙也伽

皆さんこんにちは、大阪大学ベリーダンスサークル Halaawaat です。

私たちは大阪外国語大学時代に創設し、2020年で結成18年目になります。ベリーダンスとは中東及びその他のアラブ圏で発展したもので、一説では世界最古のダンスとも言われています。エキゾチックな曲や煌びやかな衣装に合わせて腰やお腹を動かすことで、女性の美しさが最大限に引き立ち、とても魅力的に感じられます。私自身も中学生の時に大阪大学の学園祭で見たベリーダンスに魅了され、数年後に必ず合格して入部しようと決心したことを鮮明に覚えています。

私たちの活動は、踊りを通して様々な人々と交流すること、地域に密着し地域とともに発展すること、を目的としています。箕面市のお祭りや料理店など様々なイベントに呼んでいただき踊りを披露する中で、私たち自身殆どがベリーダンスの未経験者でその独特な動きに苦労する一方で、見に来てくださるお客様方の声援やザガリート(アラブ式の拍手)が本当に励みになっています。またOGさんとの繋がりも深く、卒業した先輩方もよく見に来てくださったり、一緒に公演なども行なったりします。

今年度はコロナウイルスの影響で全く練習や活動が出来ていません。しかしこのような状況だからこそ、家で基礎的な練習を行ったり、活動指針を考えたりしながら、個々が成長できるよう有意義な時間を過ごしています。活動が再開したときには、私たちのより磨きのかかった美しさをお届けしたいと思っていますので、是非一度ベリーダンスを見に来てください。



大阪大学外国語学部写真部

日本語専攻(専攻語ペルシア語)3年
米倉史夏



写真部撮影会(友ヶ島)



写真部部室

私が入部したのは、専攻語の親しい先輩に入ってみない?と誘われたことがきっかけだ。写真を撮ることは好きだけど…いつもスマホだし、カメラ持ってないし…と思ったが、それでもいいと言ってくれるから、軽い気持ちで入ってみた。

部会は週に一回。昼休みに部室に集合し、雑談しながらご飯を食べ、今度は紅葉を撮りに行かない?とか写真部らしい話もする。予定が決まれば、週末にみんなで撮影会に出かける。このラフな活動が私たちらしくて、とても好きだ。カメラで写真を撮るのってこんなに楽しいのか。気づいたらバイト代を貯めてカメラを買っている自分がいた。

部室は狭くて、様々な物で溢れかえっている。何冊あ

るか分からない大量の部会ノートは写真部の歴史を感じさせる。どこかの国の変なお面もあるし、ホットプレートがほこりをかぶっている。先輩たちはよくここで過ごしていたらしい。このこたつでは麻雀でもしてたのかな。来るたび、なんだか自分も昔からここにいるかのような安心感を覚えるから不思議だ。キャンパス移転に伴い、もうこの部室もなくなってしまおう。

長い歴史のある写真部も、昔とはだいぶ変わってしまったのかもしれない。高性能なスマホのカメラが普及している。しかし、こんな時代でも「本物の」カメラでしか切り取れない瞬間は変わらずあって、写真を撮る楽しさは何にも代えられないだろう。形は変われど、これからもこの写真部を守っていきたく強く思う。

近鉄奈良駅徒歩1分
HOTEL花小路
上田トクエ(大E15)
〒630-8226 奈良市小西町23番地
TEL: 0742-26-2646 FAX: 0742-26-2647
H.P. <http://hanakomichi.co.jp>
E-mail yoyaku@hanakomichi.co.jp

(季節を愉しむレストラン 稲屋)

古典芸能案内人 **IE17**
文楽、落語、歌舞伎の面白さを伝えます。
天野光(本名・天野豊子)
AMANO HIKARU
文楽、落語、歌舞伎のセミナー依頼受付中。古典芸能案内人で検索!!!
アメブロ: <https://ameblo.jp/koten-geinou-guide/> 古典芸能のスズメ: <https://artcoordinator.com/>
e-mail: kotengeinou@nike.eonet.ne.jp フェイスブック: [amano.hikaru.2](https://www.facebook.com/amano.hikaru.2)

UEDA GAKUEN
学校法人 **上田学園**
<http://uedagakuen.ac.jp/>

学校法人上田学園は、70年以上の歴史を持ち、ファッションやデザイン分野の第一線で活躍するクリエイターを輩出し続けています。

(学)上田学園 理事長
上田哲也 大R24

ファッション、ファッショングッズ、靴、バッグ等の企画から生産、商品の販売までのプロフェッショナルな人材を育成

学校法人 上田学園
上田女子服飾専門学校
UEDA COLLEGE OF FASHION
<http://www.ucf.jp/>

ビジュアルデザイン、インテリアデザイン、マンガ、アニメ、イラスト、声優、コミックアート、フィギュアのプロを養成する

学校法人 上田学園
大阪総合デザイン専門学校
OSAKA SOGO COLLEGE OF DESIGN
<http://www.oscd.jp/>

マンガ、アニメーション、ゲームを核に、タレント性と情報通信技術やエンタテインメント領域において活躍できる人材の創出

学校法人 上田学園
大阪エンタテインメントデザイン専門学校
Osaka Academy of Entertainment Design
<http://oaed.jp/>

令和元年度咲耶会総会のご報告

創立 100周年・箕面新キャンパス移転を祝し 1,000万円の寄付を決定!

令和元年度咲耶会総会が11月2日(土)、大阪大学豊中キャンパス、大学会館にて開催されました。田中敏宏大阪大学理事・副学長をはじめとするご来賓8名、竹村景子新学部長を名誉会長にお迎えして、先生方18名を含め、96名のご参加がありました。



当日は「まちかね祭」の1日目で、豊中キャンパスは大賑わい。ステージでのライブパフォーマンスに観客は熱狂し、様々な模擬店が大学祭を彩っていました。春からオンライン授業がつづき、学生の姿もまばらな今のキャンパスからは想像もつかない活気溢れる学内風景でした。

第一部の総会では、平成30年度の決算報告と令和元年度の予算案を承認。新役員・幹事が選任されました。新しく役員・幹事にご就任いただいた方々についてはp22にプロフィールを掲載しています。

会費のクレジット決済をご活用ください

2018年4月から、咲耶会では会員の皆さまからの会費、賛助金を少しでもご協力していただきやすくするために、クレジット決済を導入しています。年々、会員が増加し咲耶会活動にかかる予算も増加する中、皆さまのご協力、ご支援で咲耶会活動の活性化と母校支援を充実させていきたいと存じます。海外からのお支払いも便利になりましたので、海外支部の皆さまには、ぜひご活用いただけますよう、よろしくお願いいたします。詳細は、咲耶会ホームページをご覧ください。

このクレジット決済は咲耶会のデータ管理、名簿作成で長年業務委託している株式会社サラトのシステムを利用していますが、クレジット決済に関するクレジット情報は

令和元年度の予算案では、2021年の大阪外国語大学創立100周年・箕面新キャンパス移転事業のための寄付金として、先輩から承継した積立金の中から1,000万円拠出することをご承認いただきました。用途は、大阪大学未来基金「箕面新キャンパス整備事業」とし、新学舎1階に施設される「大阪外国語大学記念ホール」の建設費に充当されます。1,000万円以上の寄付者として、中之島センターの入口にある、未来基金のゴールドの銘板に、「咲耶会」の名が刻まれています。



第二部前半では、第4回「咲耶出版大賞」の表彰式を実施。藤原克美選考委員から選考結果の報告があり、賞状と副賞授与の後、大賞受賞者の深尾葉子氏、特別賞受賞者の成瀬龍夫氏に、作品の概要、受賞の感想等をお話いただきました。

後半の講演会では、大阪外国語大学元学長の是永駿名誉教授に、母校創立100周年にちなみ、「私の大学像—外大



DNA”を継ぐもの—」のタイトルでご講演いただきました。講演の内容については、咲耶会のホームページにパワーポイントの資料を掲載しています。

第三部の懇親会では、軽音学部OB・OGの「北摂エレガンス」のお二人に熱気溢れるパフォーマンスで雰囲気を盛り上げていただきました。(文責：井上泰子)

三井住友ファイナンシャルサービスにのみ残るシステムで運用していますので安心してご利用ください。

※ご利用いただけるクレジットカードは、VISA、Masterのみです。

※咲耶会ホームページから、クレジット決済ページへアクセスすることができます。

<咲耶会ホームページ> sakuyakai.net

なお、2019年度から、会報『咲耶』賛助金を、会報以外の多目的に活用させていただくため、単に「賛助金」といたしております。皆さまの温かいご理解のもとご支援よろしくお願ひ申し上げます。

コンビニエンスストア・郵便局でのお支払い

毎年、当会より会員の皆さまへ送付する同窓会報に振込用紙を同封しています。お手元に届きました振込用紙をご利用ください。万が一会報が届いていない場合は、お手数でも同窓会事務局へご一報願います。次年度より会報を送付いたします。振込用紙を紛失した方は、郵便局もしくはクレジットカードでの払い込みをお願いいたします(コンビニエンスストアでの払い込みはできません)。払込手数料は、当会が負担いたします。ご利用いただけるコンビニエンスストアは以下のとおりです。



■振込用紙は下記の3種類を同封しています。③については、別紙となっています。

- ①年会費 3,000 円のみ送付用 (郵便局、コンビニエンスストアのどちらでも使えます。)
- ②年会費・賛助金一括送付用 (年会費 3,000 円、賛助金一口 3,000 円、計 6,000 円を一括してお送りいただけます。郵便局、コンビニエンスストアのどちらでも使えます。)
- ③年会費 3,000 円+賛助金2口以上の一括送付用 (郵便局でご利用ください。金額欄は空欄です。年会費と賛助金の合計額をご記入ください。)

「オンラインによる学生生活や進路などの悩み相談会」を開催しています!

若手活性化委員会委員/在学生支援委員会委員 後藤 峻 (夜 F42)



4月以降オンラインで現役生に向けた相談・交流会を開催してきました。きっかけは、モンゴル語の学生が、今岡先生に相談されたことから始まります。外出自粛、友達に会えない。就活や留学など、学生生活のなかで悩むタイミングでも友人や教師、専門員などに相談できる機会が取れない。様々な不安が学生のなかで膨らんでいるという声を受け、オンラインでの交流会がモンゴル語専攻のなかで実施されました。その後、その不安は全学的なものであるだろうということで、有志が集まりこの企画がスタートしました。

会場として使用している Remo というシステムでは6名1テーブルでウェブ会議をします。参加者は、会場内にある19席

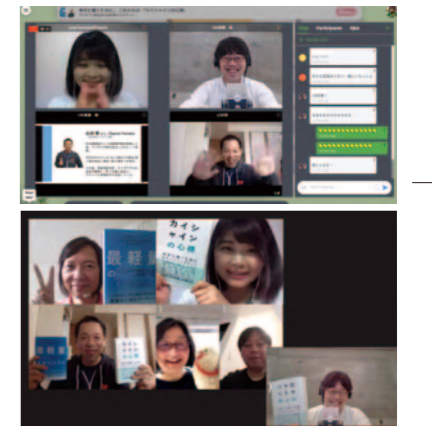
のテーブルを本人の操作で移動できます。テーブルには、まず OGOB の方々に入っていただき、職業や職種など相談したい内容に合わせて現役生は移動します。2時間の中で2~3度席替えを行います。OGO Bの方々には毎回声をかけ、参加できる方にアクセスしていただきました。外語らしく、国外からの参加もありました。卒業後、先輩たちがどんな風に活躍されているか、直接話を聞ける機会ということで参加者の方からは喜ばれました。

システムのコストは、仮設の EC サイトから寄付を募り OGOB の方、咲耶会からご支援いただきました。また、告知のためサイトを作成し、申し込みフォームも準備。実施後、参加者からアンケートを集めニーズを拾う。この体制が1週間ほどで上がり、運用しながら改善を図りました。初回開催の4月25日(土)以降、毎週土曜日10時から12時で開催しています。

sakuya meets presents 特別応援企画 サイボウズ副社長山田先輩からのエール—幸せに働くために。これからの「カイシャインの心得」—

若手活性化委員会委員 大森久美子 (大 DM36)

4月より卒業生有志(咲耶会協力)で開催していました現役生へのオンライン就活相談の特別企画として、サイボウズ副社長の山田理さん(ペルシア語92年卒)を特別にお迎えしたオンライン講演会を7月18日に実施(咲耶会主催)致しました。当日は、後藤峻さん(夜間主フランス語2011年卒)と吉原瑠菜さん(スワヒリ語専攻3年)の楽しい進行のもと、ご著書『カイシャインの心得』を基にしたご講演、30問もの質問タイム、各テーブルで参加者同士の交流会と山田さんを囲んでスクリーンショット撮影会と、盛り沢山の2時間でした。現役生・卒業生100名近くのお申込(常時70名近く視聴)があり、ミャンマーやカナダからの参加も!ご講演では、「忠誠心から距離感へ」「同調から個性へ」「やりたいことよりできること」「幸せは他人との比較ではなく自分の中に」の数々のフレーズとともに、新しいカイシャイン像についてご自身のサイボウズでの実践例を示しながらお話いただきました。また、「ペルシア語は合コンの時だけ役立つ」「様々な異なる常識を外大で体感できた事が大きい」等、母校卒ならではのお話も。「ありのままの自分を出して会社を選んでもらう」「目の前の積み重ねで今の自分がある」「自分の幸せを考えるわがままな人」等、コロナ禍で進路に悩む参加者に数多くのエールを送って下さいました。恩師との嬉しい再会もあった山田さん、本当にありがとうございました!



大徳寺精進料理

津田 真須美 (大 C42)

大徳寺 一久

〒603-8215 京都市北区紫野下門前町

☎ 075-493-0019

私の生き方、ここが好き！咲耶茶論

講演会・勉強会組織委員会 委員長 河井洋子(大R27)



毎回好評の「咲耶茶論」では、各語科の卒業生の方をお招きして、お仕事やご自身の事など、余り専門的に過ぎず、気楽な雰囲気の中で自由にお話して頂いています。

毎回、簡単なお茶とお菓子のサービスもあり、茶論終了後も、恩師の先生を囲んで、旧友の皆さんが懐かしいお話をされている光景も見られます。

昨年11月30日(土)の第9回「咲耶茶論」では、モンゴル語学科ご出身で大阪外国語大学名誉教授の橋本勝先生に「蒼き狼の国、モンゴルと私」の演題でお話を頂きました。

モンゴル語による『元朝秘史』からのチンギス・ハーンの出生の秘密に始まり、モンゴル国の地理、歴史、伝統的食文化、言語の構造と特徴、文字改革など、近いながら余り知られていない国の事情を、自らのご経験を交えた面白いエピソードと共に、お話を頂きました。質問も多く、参加者との会話も弾みました。

続く3月の第10回、7月の第11回は各々ハンガリー語ご専攻の山野井茜さん(大HG60)、朝鮮語学科ご出身の孫美幸さん(大K46)を予定していましたが、思いがけないコロナ禍の影響でやむを得ず中止せざるを得なくなったのは非常に残念でした。

来る11月28日(土)にはイスパニア語学科ご出身で、日本の数々の古典文学をスペイン語に翻訳してご活躍中の、元ベネズエラ大使、伊藤昌輝さんにお話しいただく予定です。

今回は万全の対策を取り実施する予定ですが、事情により予定が変わる事もあることをご理解ください。ご友人お誘いあわせの上、是非お越し頂きたく願います。

※11月28日(土)の「咲耶茶論」は中止になりました。

咲耶会・女子会

若手活性化委員会委員 大森久美子(大DM36)

女子会は、不定期に開催する女子会(週末ランチタイム)、原則月次で女子会夜会(金曜または土曜の夜)の二本立てで今年1月まで運営してまいりました。中華やスペインバル、カジュアルフレンチ、タイ、モロッコ、ポルトガル、ロシア料理と、各国料理を楽しく巡回。女子会らしく恋バナ、お悩み相談、トレンド情報あり。キャンパスの思い出は鉄板。世代の垣根を飛び越えていつも賑わっています。

残念ながら新型コロナウイルスの影響で現在開催が中断中ですが、オンライン開催での再出発を検討しています。女子会は、instagram にアカウント(@sakuyakajoshikai)があり、#咲耶会女子会、#咲耶会女子会夜会で開催情報を発信しています。また、女子会HP: <https://riefive6.wixsite.com/sakuyakajoshikai> も開設しており、こちらもご確認ください。皆さまに再びお会いできることを願っております。

第5回 咲耶出版大賞が決定しました

選考委員 東 明彦(院S11 大阪大学名誉教授 元外国語学部長)

卒業生や教員による2019年刊行の出版物を対象とした第5回「咲耶出版大賞」(外語精神溢れる作品の顕彰)の受賞者が決定した。大賞には、澤田和彦氏(大R23)(埼玉大学名誉教授)の『プロニスワフ・ピウスツキ伝ー〈アイヌ王〉と呼ばれたポーランド人』(成文社)が選ばれた。



今年度も、専門性の高い学術書から、意義深い啓蒙書や読者の心に訴えかける翻訳書にいたるまで、優劣をつけがたい多彩な候補作9点が集まった。選考委員会では、4名の選考委員の各著作に対する評言をもとに、さまざまな観点から検討を重ねた。

大賞に選ばれた澤田氏の著作は、川越宗一の直木賞受賞作『熱源』(文藝春秋、2019年)にも登場するポーランド民族学者ピウスツキの日本滞在期を含む数奇な全生涯を丹念に調査した労作である。著者が長年にわたり研究調査した内容をまとめた大著で、その資料価値は高く評価されている。

特別賞には、イタリアでの日本文学翻訳第一人者アントニエッタ・パストーレ(Antonietta Pastore、1977年来日、大阪外国語大学イタリア語学科客員教授等歴任)氏の小説 Mia amata Yuriko (Torino, 2016)の日本語訳である関口英子・横山千里訳『最後の手紙』(亜紀書房)と真嶋潤子(大阪大学言語文化研究科教授)氏の編著『母語をなくさない日本語教育は可能か 定住二世児の二言語能力』(大阪大学出版会)が選ばれた。

『最後の手紙』は、戦争で人生を翻弄された日本人女性の過去をその女性の甥の妻であるイタリア人女性「わたし」が掘り起こしていく小説の翻訳で、原作の良さを引き立たせる美しい優れた訳文は選考委員全員の高い評価を得た。

『母語をなくさない日本語教育は可能か 定住二世児の二言語能力』は、編著者、共著者の長期研究プロジェクトの成果であり、具体的な調査事例をもとに、日本語と母語・継承語の状況を明らかにしており、文化的・言語的に多様な背景をもつ子供への教育実践や言語教育のあり方について貴重な提言を行っている。

2021年版「同窓生名簿」作成のお知らせ

同窓生名簿編集委員会

さいますようお願いいたします。前回より入会金未納の会員様には別途頒布価格を設定しております。下記をご参照ください。

データの整備された「同窓生名簿」は、母校、同窓会の最大の財産です。より正確な名簿作成のため、何とぞご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【名簿の内容】

- 収録者：学校創立から現在までの同窓生約49,000名
- 発行日：2021年10月下旬
- 頒布価格：6,400円(入会金未納会員頒布価格12,000円)
- 名簿作成賛助金：12,000円

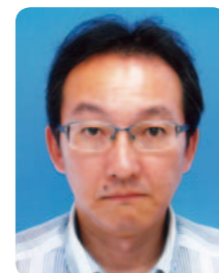
新役員・幹事紹介

荒木和夫(大DM18)



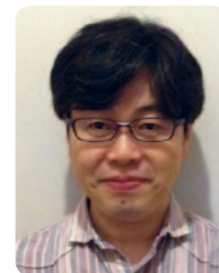
このたび副会長(会計担当)を拝命いたしました。デンマーク語学科の第1回卒業生です。一昨年まで会計監査を担当させていただいておりました。来年、大阪外大創立100周年を迎えるに当たり、記念行事関連の各種収入・支出が見込まれていますが、説明責任をきちんと果たす所存です。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

村上忠良(大TV36)



昨年10月に外国語学部の副学部長を拝命いたしました。専門はタイ地域研究・文化人類学で、とくに東南アジア大陸部のタイ系民族ジャンの宗教文化の研究をしています。これまでも咲耶会の幹事でありましたが、キャンパス移転・100周年の節目の時期に、学部役員として改めて咲耶会に関わることとなり、身の引き締まる思いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

福田義昭(大A40 院A26 院後言語1)



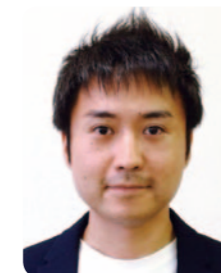
アラビア語専攻の福田義昭です。昨年、思いがけずお話をいただき、咲耶会幹事の末席に加わりました。大阪大学との統合から早や13年、来年には大阪外国語学校設立100周年を迎え、外国語学部は新キャンパスに移転します。組織も場所も人も次々に変わるなか、先達から後進につながる記憶の場、懇親の場として咲耶会が充実したものとなるよう、微力ながらお手伝いができればと願っています。

並川嘉文(大C47 院前日本7)



99年中国語卒の並川嘉文です。日本語の院に進み、阪大特任助教を経て阪大外国語学部で非常勤講師をし、150人程の学生を教えています。日本語の堀川智也先生が病気休職中のため日本語教育研修旅行を代行しています。2月には研修旅行で学生とサンパウロ支部との交流ができました。以前より撮影協力等していましたが、一層のお役に立てればと思います。

菊池信孝(開発大57)



未来を予測することが困難で、従来の方が通用しない時代に、卒業生と在校生が知識や経験を分かち合える咲耶会の価値は増えています。現状を俯瞰し、どう進むべきかを計画し、より軽やかに深い関係を紡いでいけるように、微力ながら貢献していきたいと思っています。

野垣和美(大P33)



この度会計監査の役目を頂き、久しぶりに母校を訪れる機会が増え嬉しく思っております。大学時代はワングル部に所属し、粟生間谷キャンパスで学生時代を過ごしました。今年の100周年記念行事や新キャンパス移転を楽しみにしております。微力ながら咲耶会の発展にお役に立てればと思っております。よろしくお願いたします。

創部93年記念演奏会

大阪外国語大学グリークラブ OB合唱団大阪代表 **梶江靖史** (大 IN17)



大阪外国語大学グリークラブ OB 合唱団(以下外大グリー)は昨年創部 93 年目を迎えましたので、それを祝し、創部 93 年記念演奏会を 11 月に大阪のクレオ大阪中央で、今年 1 月に東京の旧東京音楽学校奏楽堂で開催致しました。演奏会では黒人霊歌、ロシア民謡、グスタフ・マーラー作詞、作曲の「さすらう若人の歌」、清水脩作曲「大手拓次の三つの詩」計 4 ステージを演奏致しましたが、「大手拓次の三つの詩」の作曲者清水脩は大阪外国語大学フランス語学科(当時は大阪外国語学校フランス語部)卒業の先輩であり、外大グリーはこれまで何度も清水脩作品を取り上げて演奏しております。創部 93 年記念演奏会の際には咲耶会に後援を賜り、誠にありがとうございました。外大グリーは来年創部 95 年目を迎えますので、東西で記念演奏会の開催を計画しておりますが、昨今の厳しい環境下、どのような形で演奏会を開催できるのか、今後の状況を見極めながら検討して参ります。外大グリーのこれまでの伝統を絶やさぬように団員一同知恵を絞り、今後共演奏活動を継続していきたいと考えております。

IN21回生同窓会in知多

小田敏治 (大 IN21)



今回は 2019 年 11 月 7 日～ 8 日愛知県知多半島にて開催しました。仲間と会うのは 40 数年ぶりという地元の石川さんが初参加され内海湾に面したサンウツミ 50 日産内海保養所にてフグ料理と皆さんの浮世話に酔い楽しい一泊二日でした。

次回は奈良県での開催と決まりました。

インドネシア語科14期同期会

鈴木安夫 (大 IN14)



今年から本会の開催日時・場所と同じ日時・場所で開催することに決めました。23 名の同期級友ですが、すでに物故者 7 名もいる中、毎年 10 名前後集まり、明るく楽しい情報交換の場として、喜んで参加しています。

参加者が 4 名になれば会を閉じるとし、それまでは続けることを決定しています。

- ・毎年 6 月第 2 週金曜日
- ・午後 2 時開会
- ・ナンバ道頓堀ホテルにて

永久幹事として、井上、鈴木が担当しています。

南十字星会「平成保存版」発行

小原一浩 (大 IN11)



この度、会長を引き継いだのを機会に、昨年一時休刊になった第 1 号から第 25 号までの会報『南十字星』を読み返しました。その内容は素晴らしいものであり、主としてインド

ネシアと関わりあって来た事柄が中心になっている記事を小冊子『平成保存版 南十字星』(72 ページ)として発行することにいたしました。一方、その他の同窓生はそれ以上に広く世界的に活躍されています。

ところが、2007 年に大阪大学と統合した結果、インドネシア語専攻募集定員が従来の半分以下(今は 12 名)になっています。日本とインドネシアとの政治的・経済的な関係並びにインドネシア語教育の需要・必要性から判断しても全く理解し難い現状です。

それ故にこの保存版は、会員は勿論のこと、広く大学関係者にもご拝読頂ければと考えています。

また、他の専攻語関係者にもご希望者には謹呈申し上げますので、下記までご連絡下さい。

南十字星会

(大阪大学外国語学部・インドネシア語専攻同窓会)

会長 小原一浩

E-mail: ohr1210@nike.eonet.ne.jp

携帯: 070-4356-6131

事務局: 〒 589-0007 大阪狭山市池尻中 1-28-1

演奏会を振り返って

太田和麻 (大 PB43)



ご縁があり、偶然同窓生と判明した Katieさんと 2 月 16 日に「Katieとお一たかずおの音楽 de 世界旅行」という演奏会を大阪外国語大学記念会館にて開催させていただく機会を得た。コロナ禍

が現実的な脅威として深刻さを増しつつあった時期で、日程が一週間でも後だったらと思うと、今となっては開催されたこと自体が奇跡的に思われる。小雨降り止まぬ日であったが、井上泰子咲耶会副会長や恩師林田雅至教授のご列席も賜りながら、会場は満席となり賑わいを見せた。中には実に 25 年ぶりに顔を合わせるような懐かしい面々に囲まれ、時間軸が大きく歪んだ様な不思議な感覚に囚われた。開場前には烈士之碑前に献花と献杯をさせていただき、今日我が国の礎を作られた先達の生き様と、懐かしい学び舎としてその地を長きに渡ってお貸しいただいた箕面の山々に感謝の思いを馳せた。

本編は生まれて初めて演奏する、緊張感に溢れた大阪外国語大学学歌の献奏から始まった(今思えば学歌を完全にマスターしている合唱団の方々が多数おられたので、その場で打ち合わせて歌ってもらえば、ものすごい顔をして演奏することはなかった)。ここからは Spain, チュニジアの夜など、世界の地名をタイトルや歌詞に盛り込んだ名曲の数々と、外大生生活を彷彿とさせる抱腹絶倒のトークで、大いに盛り上がった。再びこの様な楽しい演奏会ができる日が来ることを切に待つこの頃である。

東北支部

黒木一吉 (II E10)

咲耶会東北支部令和元年度総会開催内容(2019年11月16日) 樽井副会長が「アラビア語」について記念講演

「同窓会のおかげで若くなり」と、岩手県在住の女性(75)の記事が全国紙に掲載され、改めて意を強くした。同窓会は人脈の拡大に貢献し、異業種交流等の意味合いもあり、新たな同窓生との出会いも楽しい。



東北支部総会は令和元年 11 月 16 日、仙台駅前の居酒屋「酒楽」で開催。記念講演や懇親会を通し、親睦交流しながら母校に思いを馳せた。

来賓の樽井一仁副会長(本支部連携委員長)は、休眠中だった東北(旧仙台支部)、北海道支部の復活に加え、石川支部等の立ち上げを紹介しながら祝辞を述べた。また久保義昭・東京支部長、笹山喜市・北海道支部長も激励に駆け付け、総会を祝った。

山根聡・大阪大学大学院言語文化研究科副研究科長と大学職員の吉田富士江さんは、大学未来基金・箕面新キャンパス整備事業募金について、寄付の協力を要請。学内では今後も国際人を育成するための言語教育に一層の情熱を傾ける決意を語った。

引き続き、樽井副会長が記念講演。「アラブよもやま話」と題し、石油会社のクェート駐在やエジプト勤務時代を振り返り、特に難解なアラビア語を駆使しながら奮闘した現役時代を回顧。国内でも年々アラビア語熱が高まっていることから、一度アラビア語にチャレンジしてはどうかと提案した。

この後、箱木眞澄・東北大名誉教授の音頭で乾杯。桜井元・秋田朝日放送社長や中村勝彦・豊橋商工信用組合理事長、清水記行・東京商工リサーチ情報副本部長、高橋啓介・新事務局長(宮城県庁)らが近況報告、次年度の再会を約束し合った(黒)。

東京支部

樽井一仁 (大 R23)

咲耶会東京支部の今後の活動について

新型コロナウイルスの影響で、東京支部の活動にも支障を来しました。東京支部の今後の活動は当面、感染状況を見ながら、実施していきます。

支部だより

基本的には、イベント開催の条件「定員の50%の範囲内」を遵守し活動していきます。そこで、より広い会場で実施することで対応、コロナ感染が落ち着いた段階で、元に戻したいと考えています。

7月18日に予定していましたビアパーティは、100名超の参加が見込まれますので、定員200名以上の会場を探す必要があります。銀座ライオンのクラシックホールは定員120名のため、今年のビアパーティは中止することにしました。来年度につきましては、新型コロナウイルスの収束状況を見ながら、より広い会場を探して実施したいと考えています。

月例会については、毎回25～30名位の参加があり、定員60名の会場で開催する必要があります。大阪大学東京オフィスは、定員30名と少なく、15名での実施は現実的ではありません。そこで、従来利用していた学生会館の定員60名の部屋で実施することにし、6月29日より再開しました。

東京支部総会については、広い会場の確保、採算、参加者数の見込み、東京でのコロナ感染状況等を判断し、「総会・講演・懇親会」の形での実施は断念し、「総会」の書面決議にて実施することにしました。

新年会は、毎年好評の「新春放談会」があり、採算面も考慮し、土曜日昼開催を平日昼に変更して実施する予定です。

長野支部

山西敏博 (長野支部長)

大阪大学大学院 言語文化研究科 博士後期課程 満期単位取得

2018年度より山陰両県の支部の統括を拝命しております。山西敏博です。

2017年11月咲耶会北海道支部での初参加、その後「山陰地域でも咲耶会活動を復活させたい!」と思い立ち、鳥取支部長・島根支部長代行を拝命しました。そして、2018年12月、初の「鳥取県・島根県 合同同窓会」にて260名中14名、翌年2月「鳥取県東部同窓会」にて8名のご参加を得ました。



2019年は、鳥取県から【童謡・唱歌のふるさと長野県】に異動をしました。前年度まで山陰両支部の統括をしておりましたが、それぞれ地元の有志の方々に委ねました。長野県に異動後は「長野支部」を新設し、8月に初の「長野支部設立記念同窓会」を開催しました。140余名中13名のご参加を頂きました。

さて、2020年度は、国難のコロナ禍において、現在は全くの活動休止状態です。ですが、下半期までに鎮静化がなされれば【12月5日(土)18時～、第2回同窓会：上田市 東

急 REI ホテル (駅・お城口1分)】を開催したいと存じます。その際はぜひとも皆さまご参加下さいませ。詳細なご連絡は、山西宛にご連絡下さいませ (ezm11541@nifty.ne.jp / 080-3237-0225)。コロナ禍に負けることなく、さくや会を信濃國で盛り立てましょう! よろしくお祈りを申し上げます。

名古屋支部

白岩 修 (大D19)

令和元年～令和2年度咲耶会名古屋支部活動状況

当支部では恒例の月例会「三水会」(毎月第三水曜日正午から約2時間の昼食懇談会)をアパホテル名古屋錦5F日本料理「伊勢」で開催しています。活発な意見交換に花咲き楽しい会となっています。毎回10名前後の参加を得て、政治・経済問題、外交問題、趣味など諸々の話題で楽しい会となっています。ただ、3月以降は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、休会を余儀なくされています。



令和元年12月14日(土)には総会(忘年親睦会)を開催し30名の参加がありました。咲耶会の財政状況が非常に厳しく、「年会費」、「賛助金」を支払って頂くようお願いをしました。又、来賓の竹村外国語学部長からは2021年創立100周年・箕面新学舎整備事業への募金のお話をして頂きました。

本会ではゲストスピーカーとして木越 勉氏(大S26、外大卒業後三井物産に入社、現在中京大学教授。集合写真前列右から4人目)をお迎えし「私とスペイン語とのかわり」と題し、大変興味深い講演をしていただき参加者一同大変感銘を受けました。

又、令和2年1月15日(水)夕刻には新年会を開催し、11名の参加を得ました。日本料理「伊勢」の美味しい料理とお酒で歌が出たりして非常に盛り上がり、会員間に尚一層強い絆が生まれました。

*長年名古屋支部長をお務めいただいた、塚崎義弘氏(大R8)は、令和元年12月31日にご逝去されました。そのご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岐阜支部

丹羽宏造 (大IN7)

11月10日咲耶会岐阜支部の同窓会を開催

参加人員：10名(名古屋支部 応援出席者3名を含む)
上記の他：竹村名誉会長、吉田富士江氏(阪大渉外本部)
合 計：12名

今回久方ぶりに下手福子さん、山田善也君の参加を得る。

食事前に約30分名古屋支部会員の尾形裕幸氏(大S27)に卓話を依頼。ブラジル日系社会の成り立ちから現在までを緻密な時代考証を入れての解説の後、陽気なりオのカーニバルとは異なる現代ブラジルの実情の解説。全員身を乗り出したの傾聴、久しぶりに30分という時間の短さを実感(食事中もひっきりなしに質問が出る)。

食事後、竹村名誉会長の大阪外国語大学100周年記念事業、そして事業への協力依頼、吉田渉外担当の事業に伴う寄付金の依頼。

最後に下手さんから「埋蔵金」の話、緊迫する支部財政にとっては干天の慈雨、下手さんが大黒さんに見えた。

尾形裕幸氏の略歴、トヨタ自動車 欧州各国駐在の後、オーストラリア、ブラジル、アルゼンチンで現地法人社長を務める。

京都支部

西尾 齊 (大E11)



2019年度例会

2019年10月17日、京都ガーデンホテル「彩宴」(京都市中京区)で、会員26名のほか竹村景子・大阪大学外国語学部長の来席を得て、2019年度京都支部例会を開催。

○講演「ひとり親家庭支援」NPO法人・あっとすくーる 理事長の渡 剛氏(阪大日本語1回)から「ひとり親家庭の子どもを支える学習支援」と題し、日本では、7人に1人の割合で相対的貧困状態にあり、そのうちの半数がひとり親世帯であるなど子どもの貧困について示唆に富むお話を伺った。

○総会・懇親会 講演のあと議事に移り、会計報告を承認。また今後、会報のタイトルに「咲耶会」を表示することを決定。議事終了後、懇親会に移り、盛り上がった。



神戸支部

大森久美子 (大DM36)

2019年12月1日に、広島、京都、大阪からの方も含め19名のご参加を得て、神戸支部忘年会@ がんこ三宮寿司店を開催しました。4名が神戸支部イベントに初参加。30～80代の幅広い年齢層。竹村景子外国語学部長が学部の近況説明とともに箕面新キャンパスへの寄付を呼びかけられ皆さん真剣に聞き入っておられました。飲み放題も手伝ってすぐ

に皆さん打ち解け、閉会後もお互い写真を撮り合って興奮の余韻が長く続きました。神戸支部はオープンです。国内海外問わず、また現役生や留学生の方にも参加していただきたく、今後はwebイベントも視野に入れていきたいと思ひます。実は、新型コロナウイルスの影響で当初検討していた今年6月の支部イベントを延期しました。今後は、感染予防にも留意して改めてイベントを企画していきたいと思ひます。



香川支部

森本勝幸 (大S15)

咲耶会香川支部の総会は開催日と開催場所は固定していません。即ち、8月の最後から2番目の土曜日の夕方に、高松市の「ルポール讃岐」(旧讃岐会館)で開催することにしています。令和元年は8月24日(土)の夕方5時前に集まり 参加者全員の集合写真を写真屋さんに撮ってもらい、約2時間の会合が終わる頃には、現場へ写真を持ってきてもらいます。大変ありがたいし、良い思い出づくりになっています。

香川県高松市には日本三大名園以上の美しさと定評のある栗林公園があります。四季それぞれいつ来ても素晴らしい景観です。その公園の北門のすぐ近くにある会館で毎年旧交を温めています。

感性豊かな青春時代を同じ大学で過ごした仲間とは集まるだけで何か共通するものを感じてしまいます。校舎、校庭、周辺の繁華街、飲み屋、料理店の名前を聞くと共通するイメージが湧いてきます。



参加者11名
前列左より 廣瀬彰彦(大S10) 三谷正芳(大E9) 小野博(大E5) 谷昌宏(大IP9) 黒田好子(大E14)
後列左より 川井田修(大DM31) 岡田尚三(大R14) 森本勝幸(大S15) 佐々木雅彦(大IP38) 高井忠(大E13) 奥田修司(大E52)
(敬称略)

支部だより

また、毎回参加者一人ひとりから近況の報告が聞けます。趣味の楽器、地元のボランティア活動、長年続けている購読誌、趣味の海外旅行、歴史小旅行、外大当時の思い出、司馬遼太郎の作品や随筆など多彩な分野に渡り、大変興味深くまた刺激にもなります。このお話を聞くために集まったような感じさえます。また、次回の再会が楽しみです。

宮崎支部

近藤哲二 (H510)

宮崎支部は、毎年同窓会を、本部の総会の前後に開催しています。本年は、コロナウイルスの影響もあり、支部幹事会をしていません。

昨年の総会時に LINE(12名) でつながりを作りました。現在、連絡等あるときは、有効に活用しています。

この会の特徴は、老若男女の幅広い世代が集いあうこと。2時間あまりですが、それぞれが近況を語り、また、それを聞くことにより、みなさんがそれぞれの立場で社会に貢献されているな一と感じ、さあ、私も明日から頑張ろう。という気持ちを起こさせてくれるところにあるのではないかと思います。

昨年の同窓会には、数年ぶりに参加のメンバーがありました。ほかの行事と重なり参加できない方もおられました。また、会報『咲耶』の「支部だより」をご覧になり新しい参加者が参加されることを期待しています。今年も一人でも多くの同窓生が参加されますよう、コロナに負けずに、しっかり取り組んでまいります。



令和元年11月9日開催の同窓会出席者(15名)
戸高昭彦・黒木國益・弓場照美・宮田泰雄・笹原敬生・米田健一・前田陽一郎・竹前望美・木崎宣博・杉田亨一・井手田篤・近藤哲二・金丸里奈・長友弘美・小原幸恵 (敬称略)

ジャカルタ支部

坂口広之 (大IN36)

ジャカルタ支部の坂口です。このたび長年支部長を務めました内原さんが本帰国されることになり、後任支部長を拝命しました。到らぬところ多々あると思いますが、何卒ご指導よろしくお願いたします。

現在の主な支部活動は、ジャカルタ市内で適時開催の同窓会です。インドネシアに長期在住の同窓生も多いため、当地の歴史・文化から様々な最新世情まで熱く語り合えるとても楽しい集いです。新型コロナウイルス沈静化までまだ程遠い当地状況ですが、6月に入りレストランの営業が徐々にオープンされ始めていますので、同窓会も近いうちに再開出来ればと思っています。

最後に自己紹介を少し。1988年インドネシア語科卒業。商社の駐在員として1991~1993年パキスタン・カラチに勤務、1996年晴れて希望のジャカルタ駐在。更なる長期在住を目指し任期満了の2001年バンドンにあるローカル企業に転職し今に至っています。趣味はインドネシア地方旅行(秘境系多し)、トライバルアート蒐集(主にパプア・ニアス木彫り)、古紙幣蒐集などです。魅力に憑かれ在住25年目となりましたが、これからもインドネシアライフを永く深く楽しみたいと思っています。



昨年12月に開催された前回の同窓会(筆者右から二人目)。

ヤンゴン支部

松島勇治 (大B27)

「同窓会に素敵な名前を付けましょう」と一年ほど前に提案したものの無の礫で現在に至っている。年2回ほど阪大+阪外大OBのみ、もしくは東京外大OBを交えて同窓交流会を開催している。

駐在員以外の当地定住者がほぼ皆無で、同窓会の組織としては心もとないが、定期的に入れ替わる留学生とOB出張者が元気澆刺でなんやかんやで引きずり込まれ、気がつけば和気あいあいと四方山話が弾んだ同窓会の後のお勘定の損失補填を「高齢者OB」が肅々と行っている。留学生の方々にとっては栄養補給と日本語回帰の場であり、駐在員にとっては若鮎のような後輩を愛でて過ぎ去りし青春を偲ぶ場である。一期校二期校制度の最後の学生である自分としては同窓会参加者の平均年齢を上げていることと、平均偏差値を下げていることを申し訳なく思っている。

写真は3月10日ヤンゴンのチャトリアムホテル内中華レストラン「虎丘楼」で行った同窓会である。今から言えば新型コロナ禍が顕在化する前にうまいこと行えたものだと感心する。総勢20名、留学生9名(女子学生が7名)。和やかで華やかな雰囲気は留学生のお蔭様である。



最後に今世界中で猛威を振るっている新型コロナ禍が一日も早く収束し平和な日常に戻ることと皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。

バンコク支部

藤岡 諒 (阪大T6)

咲耶会バンコク支部では2019年も会員間の種々の情報共有や食事会を実施してまいりました。また、東京外国語大学同窓会との毎年恒例のゴルフコンペ及びクリスマスパーティーも開催し、会員間のみならず外部の皆さまとの親睦も深めてまいりました。



2020年に入ってから新型コロナウイルスの影響で直接会うといった形での会員間の交流を深める機会を作ることが難しくなっています。ただ、このような今までにない危機的な状況だからこそバンコクの様々な業種業界に広がる咲耶会のネットワークを活かし、会員間の連絡連携を密にしつつこの危機を乗り越えていければと考えております。

バンコク咲耶会は今後も様々な形で会員の皆さまの親睦を深め、さらに役に立てるような様々な活動を実施していく予定です。タイらしく、どなたでも気軽に楽しんでいただける雰囲気的活動をしておりますので、ご興味のある方あるいは同窓のお知り合いの方がタイにいらっしゃる場合はぜひ osakagaidaibkk@yahoo.co.jp にご連絡ください。

支部総会・イベントのご案内

■令和2年 長野支部総会
日時/12月5日(土)18時~
場所/上田市 東急REIホテル(駅・お城口1分)
連絡先/山西敏博(長野支部長)
E-mail: ezm11541@nifty.ne.jp
携帯: 080-3237-0225

■令和2年度 京都支部総会「開催未定」
■2020年度南十字星会定例総会開催を予定していましたが、延期になりました。

■令和2年 名古屋支部総会(忘年親睦会)のご案内
日時/12月12日(土)12:00~14:30
会場/アパホテル名古屋錦11F ビルゴ
会費/4,000円(和食弁当と飲み物)
講演会/講師:土森道雄氏(大TV17/タイ語学科1969年卒業)
演題/「Sri Lanka 2000有余年の仏教歴史国家」
経歴/外大卒業後、日本陶器入社。タイ、カナダ、スリランカ、アメリカ等に駐在。
申込先/名古屋支部長 白岩 修
TEL & FAX: 052-806-7873 携帯: 090-4865-8172 E-mail: shiraiwa1123@yahoo.co.jp
申込締切: 11月20日

大阪大学
産業科学研究所



大阪大学発ベンチャー
株式会社ビズジーン

共同研究からふたつの日本酒、限定販売!

幻の酒米三島雄町使用の純米吟醸「發」と酵母の働きに着目した黄金色に輝く純米大吟醸微発泡にごり酒「HATSU」、ビズジーンプロデュースの日本酒をぜひお楽しみください。

ご購入はこのQRコードから。
大阪大学生協吹田キャンパス本部前店でも好評販売中です。

ビズジーン 日本酒



2020年3月1日に
開業50周年を
迎えました。



千里阪急ホテル ご予約お問い合わせ 06-6872-2808 (セールス) 千里中央駅 徒歩約5分

短 信

総会出欠ハガキの短信欄からの転載です

寺田 傳 (S21)
筆圧で少し沈むような感じで手書きします。表面ザラザラの用紙に。例えば、柿本朝臣入麿の歌。淡海の例夕波千鳥 汝が鳴けば 情もしのに古思ほゆ などと。

藤井 浩 (IP22)
来年、満 96 才。年男です。

岡田 廣 (S22)
神戸市在住。現在グループホームたのしい家西舞子にてのんびりと生活をしております。司馬遼太郎（福田定一）氏蒙古語学科と同学年です。（記）長男・崇（タカシ）**由井春樹 (E23)**
焼失前の上八の校舎で1年を過した後、20年3月航空機生産の学徒動員で名古屋へ。戦後は高槻の工兵第四連隊の旧兵舎で卒業までの1年余過ごしました。往時茫茫の感強し。

込茶三郎 (C26)
小生、来年卒寿を迎え、来年卒業 70 年となりますが元気に過しております。
調子 肇 (IP26)
私のクラスメートは 90 才以上で関西でも私も含めて 4 名。私は今の處通院可能ですが、私以外の諸兄は次々と襲う病魔と苦闘しておりますが、動き難い事で近況は知らせてくれます。

山根矩昭 (大 C2)
敬拝する諸兄姉の御健康を祈ります。**釜谷研造 (大 E2)**
今年 (2019 年) 6 月をもって兵庫県議会議員を退任致しました。思い返しますと 7 期 28 年余に亘って大変お世話になり有難うございました。今後は又、新しい世界に向かって挑戦致します。改めて今後ともくれぐれもよろしくお願い致します。

中井 隆 (大 C3)
米寿を迎えた令和元年秋の叙勲で「瑞宝小綬章」を受章しました。12 年にわたる校長在職中「咲耶会」副会長 井上泰子元箕面高校長には、ひとかたならず御指導御助言を戴きました。感謝。

塩田克博 (大 E3)
卒業後 60 数年を経て、同級生も数多くはないと思いますが、懐旧の念しきりです。

玉利 虹 (大 S3)
学校へは長くご無沙汰していますが、送られてくる『咲耶』は学校の事を知る唯一の情報源ですので、今後とも送って下さい。

園田成起 (大 C4)
13 年も住んだ香港が大変な状況になり日本だけでなく、米国などからの情報にも目を通し注目しています。2018 年から始まった米中の " 体制 " を争う冷戦も目が離せません。

赤坂興一 (大 E4)
昭和 31 年に外大を卒業して毎日放送に入社しました。役員になりましたので 70 才まで勤務しました。現在は 85 才になりましたが英語の本は少しずつですが読んでおります。

富永邦夫 (大 C5)
満 88 才が間近になって花育てにうつつをぬかすようになりました。花が咲き続けるのは " 薔薇 "、次に昼咲き宵待ち草、最近になって " 桔梗 "にも魅せられるようになり、早朝からいそいそと花作業に励んで居ります。花壇の周囲の広場の敷石の隙間にへばりついた雑草を少しずつですが抜いていくのも言いしれぬ喜びになっています。その上、樹下の読書が至福！富永さんですかとどなたか訪れて下さればと夢見つっ…。

田端禎二 (大 IN5)
目下入院中でありまして出かけられぬ状態です。死ぬまでに旧知に逢いたいのがむりですね。

無記名 (大 IN5)
毎年『咲耶』をお送りいただいでありがたく思っています。私どもの在学時代には考えられなかったことが行われて今後さらに発展すると信じます。母校を訪ねたい気持ちがあっても交通が不便で失礼しています。大阪大学の一学部になり一層外国語研究の場として特化されることを期待します。年会費について会長様の文書を見ましたが「何となく」納入を忘れていううちに月日が経っているという会員が多いと思います。会報を必要とする会員にだけ送るという方法は如何ですか。次回、「今後会報を希望するか否かを問う返信用葉書」を同封するとよいと思います。

田丸青実 (大 IP5)
皆さまお元気ですか？ 85 才を迎えた印度語の皆さま、御一人以外は元氣とおみうけしましたが。

小野 博 (大 E5)
毎年の香川支部総会を楽しみにしています。本校創立百周年までは元気でいたいと朝の散歩や読書に励んでいます。

正木和代 (大 D5)
旧姓「野村」と申します。語劇祭で知り合った英語科の正木恒夫と結婚。夫正木恒夫は外大で教授として働きました(他界しております)。現在「老人ホーム」の様なところでお世話になっております。**中川 清 (大 S5)**
『咲耶』を楽しみにしています。会誌到着次第、年会費納入するよう心がけています。生きている限り納入致します。そのためにも長生きします。

野村敏一 (大 A6)
年令は 80 才をすぎましたが、マニラの水道事業の受注に努力をしています。

清水重雄 (大 E6)
私共 E 大 6 東京在住組は現在でも年 4 回昼食会として楽しんでいます。幹事の金川弘美さんのお陰です。集まれるのは 8～10 名です。

保田武司 (大 D6)
一日一生の想いで頑張っています。御支援よろしく。

恒成喜久子 (大 F6)
外大卒業後 61 年がすぎた今『咲耶』No.30 (2019)を通読して感無量！咲耶編集委員の皆さまに感謝・感謝です。

2021 年 11 月「大阪外国語大学創立 100 周年記念式典」に参加できるのを今から楽しみにしています。

小黒 一 (大 IN7)
高齢の身には箕面は遠過ぎます。

吉田 稔 (大 IN7)
ベジタリアンは存在するが植物は食す。植物も生命だと思うが…。

芳賀直美 (大 E7)
定年後に参加したインバウンド向けボランティアガイドの活動を続けています。好いヒマつぶしです。

小川丈治 (大 F7)
昨年 (2018 年) 大病をわずりましたが、幸い快方にもukai日々元氣を取り戻しています。

中林速雄 (大 R7)
最近ユーカー・ガリーシワと名乗っています。やつれて幽鬼のような風貌。ガリガリシワシワ極まりの外見から名付けました。ローマ字では Youkey Gariesiva です。

林 喜久雄 (大 IN8)
阪大との合併の際、外語発足時からの馬來語 (後のインドネシア語) 学科の定員は半減された。南十字星会会長宮崎嶋夫君と共に再三抗議し西尾現総長にも面談し、全語科中最低の定員の改善を申入れるも見るべき改善なし。怪しからん！

増田次郎 (大 IP8)
小生、1956 年の入学。高槻学舎へ通学した最後の学生のひとり。1957 年春から 1960 年春の卒業まで 3 年間を上八学舎で学んだ。1957 年に頂いた「大阪外国語大学創立三十五周年記念-" 正倉院御物をモチーフにした鳥獣文鏡 "造幣局製」は今も尚、書斎の宝物です。2021 年「大阪外国語大学記念ホール」の実現が楽しみです。

河野利一 (大 A8)
私は上八の学舎で学びました。卒業後箕面の粟生間谷という遠い所に移転され一度も足を運んだことがなかったです。でもこの度、我々の織維の町、箕面船場に再移転され感慨深いものがあります。新学部と弊社は線路をはさんで真向いです。

浅野 弘 (大 E8)
地域防災活動の推進・充実に腐心しています。

菊井忠雄 (大 E8)
散歩三昧の毎日をすごしています。毎月2回、A.C.Cで Kenneth Clark of Civilization を読んでいます。83 才になります。

屋敷 潔 (大 E8)
昨年末、膀胱がんの手術をしたり色々医者通いはしていますが、それなりに元気でやっております。『咲耶』No.30 で報告の通り長年月を経て、昨年夏にアメリカ 50 州全州の訪問を完了しました。しかし我が祖国日本の 47 都道府県の内、未訪問の県が 5 か所も残っており、2-3 年でこれらの土地にも、是非、足を踏み入れたらと思っています。

岩中秀雄 (大 D8)
入院中で失礼します。

故 塚崎義弘 (大 R8)
老人介護施設に入所しています。(2019 年 10 月記述)

氏家重幸 (大 E9)
高齢且つ遠方の為欠席します。ご出席の皆さまよろしくお伝え下さい。

樹下嘉之 (大 C13)
C13 は今年 9 月上海で同窓会をしました。

峯本晴輝 (大 D10)
現在、奈良日独協会の理事として、日独の交流に尽力しています。

岩崎友彦 (大 IP11)
母校の繁栄を心からお祈りします。

西村泰作 (大 E11)
新会長のもとで同窓会の維持とご発展を祈ります。

千田 享 (大 F11)
商社に続いて国連勤務で海外在住が長く大変ご無沙汰致しました。現在も NGO 活動等で忙しく、来年には出席させて頂きたいと考えます。賛助金と新キャンパス事業に協力させて頂きます。

庵原専三 (大 S11)
令和元年「SS38 会」恒例秋の旅行は 10 月 6 日～7 日小田原・箱根行きで天候にも恵まれ、北條五代のお城見学。その後箱根の観光スポットを満喫しました。参加者は 13 名で今回も思い出に残る素晴らしい旅でした。

佐田公英 (大 C12)
来年 (’20 年) 元気に傘寿を迎えたいものです。

辻 (湯川) 修司 (大 IN12)
2007 年よりタイのバンコクにて生活しております。それまでは 16 年間インドネシアのジャカルタにて駐在員生活をしておりました。たまたま一週間京都にもどっておりましてので返事をしております。ジャカルタ時代は卒業生の方々にはお世話になりました。

高水忠春 (大 IP12)
海外生活 30 余年、退職後ガンと腰椎・頸椎の難病治療。現在は故郷の飛騨高山で余生を楽しんでいます。

竹村洋三 (大 IP12)
『外大』卒の精神を支えに元気で過しております。

伊藤昌輝 (特別会員) (大 S12)
相変わらず日本の古典のスペイン語訳と格闘しています。来年末には「万葉集」(大盛堂書房)と「歎異抄」(スペイン si-gueme 社)の日西対訳版がそれぞれ刊行される予定です。

川原一行 (大 C13)
私たちの世代は安保闘争直後から高度成長期に学校を出て社会にはばたいた。なんといってもも外大の上八学舎はなつかしい。いま国際交流センターになっていて昔日の面影はないが、周辺には少しは昔をしのぼせるところもある。阪大の中に外大をしのぶ建物ができることはすばらしい。中国語科から外大大・滋賀大・関西大学と 3 人の学長が 1 学年以降の同窓生で誕生したのもすばらしい。

他にも多くの学者さんを生んでいる。

私は商社と議員 (36 年) の道をえらんだが、あつという間だった。79 才に近くなるが、まだまだ現役をつらぬいてキラリと輝く生き方をしたいと思う。2019 年 10 月 4 日。

竹下晃治 (大 C13)
中国の歴史・文化を紹介する講座を会社 OB 会と地元公民館で開催しており、25 回を数えました。このためにたくさんの書物・資料を読み込み、頭のポケを防止しております。

竹下晃治 (大 C13)
中国の歴史・文化を紹介する講座を会社 OB 会と地元公民館で開催しており、25 回を数えました。このためにたくさんの書物・資料を読み込み、頭のポケを防止しております。

橋本 勝 (旧教員 大 M13)
喜寿に達しましたが、お蔭さまで元気で過しております。本年 (2019 年) 10 月、『ニューエクスプレスプラスモンゴル語』(CD 付)(白水社)を上梓しました。多少とおお役に立てればと思います。

辻 斌 (大 E13)
80 才手前ですが頑張っております。皆さまもお元気でよろしく！

立入俊司 (大 C14)
社交ダンスを 20 数年踊っている。ネクタイを締めた紳士が淑女とコンタクトを取り、音楽に合わせて、時には桃源郷にいる思いで踊ることもある。今は、パーティー屋が公的施設を借り、安く踊らせてくれる。ホテルでも開催されている。ネット検索。ワルツ・ルンバ等の 10 種類の競技ダンスとジルバ等の 4 種類のパーティー用ダンスがある。ジルバは快活な踊りで楽しく汗をかけます。基礎だけではプロの教室で正確に習っておくと進歩が早く、DVD もあり教材は豊富です。皆さまも踊りませんか。

井上久生 (大 IN14)
若い頃、上八で学んだインドネシア語との縁で毎月インドネシアの歌を歌う仲間とのつきあいが続いています。**江尻成泰 (大 E14)**
いつも失礼しておりますが盛会を祈ります。よろしければ「いろは文字錦」(海風社)「万葉考房」→「梅花万葉集友の会」を検索してみてください。

吉川千鶴子 (大 E14)
英語の感覚を身につけるべく『日英比較動詞の文法』の第 2 版の執筆に取り組んでいるのですが、なかなかすすみません。

福積康光 (大 D14)
『咲耶』にライマン先生を見て懐かしく思いました。先生の指導で語劇で“Die Rauber-Schiller”を演りました。

竹山克剛 (大 S14)
肝臓ガン治療の副作用で肝機能劣化し、ポチポチゆっくりをモットーに毎日、暮しています。咲耶会の盛会と皆さまの健康を祈ります。やれる時にやれることを、即やることを実践する毎日です。

北川敏二 (大 R14)
卒業して 53 年を超えましたが、外大で同期だった友達とは毎年集まって交流しています。今年も 10 月 23 日に集まります。上八の外大校舎を思い出します。

藪 一郎 (旧教員 大 B15)
卒業して 52 年、退職後も 10 年たち大学もはるか遠い昔の思い出になりました。元氣で細々とながらも以前に近い生活がつけられるのをありがたいと思っているこのごろです。(*19.10.7)

佐々木康治 (大 E15)
海外放浪癖は病膏育(やまいこうこう)に入るの状態、年平均 210 日もあちこち彷徨い続けている。

穂積健次 (大 E15)
在宅コンサルタントを継続しています。そのお蔭で月 2～3 回ゴルフを楽しんでいます。

村山久二子 (大 E15)
最近、咲耶茶論や咲耶会女子会を覗かせて頂き、若い後輩のメンバーさんや他の語科の方々との交流を楽しんでいます。多少とおお役に立てればと思います。

橘 勲 (大 M16)
平成 25 年に肺ガン手術を受けてから 6 年目。一時は死を覚悟しましたが昨年検診を受けた結果どこも異常なく、医師から卒業と言われました。今は仕事をしながらそれ以外の時間は語学 (英語・モンゴル語) の勉強をし、今になって語学の面白味を知りました。

高橋輝次 (大 E16)
この 10 月に『タイトル読本』アンソロジーを出しました。出版活動中。

吉川昌宏 (大 D16)
後期高齢まで生かしていただき、感謝しております。茨木市実用日本語学習会で日本語を教えたり、健康のため 15 年ほど郊外で自然農に親んでいます。

松見芳男 (大 E17)
外務省、農林水産省 / 農研機構、文部科学省 / 科学技術振興機構の委員を務め 73 歳ながら多忙にしています。

井上 (阪本) 史 (大 D17)
人生のほとんどを箕面に住んでいますので、母校が今回の移転でも引き続き身近にあることを嬉しく思っています。

武田憲明 (大 D17)
今も元気にすごしています。デイ・サービス週 2 回通っています。

中川裕二 (大 S17)
昔の両外大は特色のある優秀な人材を多く輩出してきました。総合大学の一学部になっても引続き進取の気性に溢れた人材を育てていかれることを切に希望致します。

柄谷 勝 (大 R17)
電機メーカーの営業で 35 年間ロシアと関わった。旧ソヴィエト時代の方が色々とおもしろかった。ロシアになったからは何かにつけて、金、金で…。**鎌本京子 (大 IP18)**
現在はジャズボーカルと社交ダンスのレッスンを受けています。上達は難しいですが、趣味を大切にしています。

半田康彦 (大 P18)
30 数年前、3 年半の英国ロンドン駐在以来、家族ぐるみで親交のある

英国人の娘の結婚式出席のため 2019 年 3 月に夫婦で英国を訪れた機会に、イングランド北東部のダラムやニューカッスルを訪れ、世界遺産のダラム城やダラム大聖堂の壮麗さに感動する一方、古代ローマ遺跡のハドリアヌス防壁の長大さに驚嘆しました。

上田 鋼 (大 E18)
早朝ウォーキング、夕方散歩、近隣の寺社めぐり、奈良・大阪・京都の神社仏閣・神像・仏像巡りをやっています。

小田 (谷元) 寛 (大 E18)
外資企業の顧問は殆ど肩書だけで、専ら落語及びそれに関連したことを楽しみ、SNS に興じているここ数年です。

白岩 修 (大 D19)
咲耶会名古屋支部の幹事をしています。皆さま、是非一度咲耶会総会にご参加下さい！懐かしい顔に出会えますよ!ジム、健康麻雀、テニス、カラオケ、男の料理等を楽しんでいます。たまの飲み会が楽しみです。

神崎康彦 (大 F19)
なんとか、やっております。諏訪忠泰 (大 S19)
身内の介護でバタバタしてますが、大学の部活経験を活かして昨年、吹田市の同年代の男女 14 人のギターアンサンブルに入会し、福祉施設の訪問演奏活動に参加しています。皆さまのご多幸を祈念申し上げます。

交野正隆 (大 E20)
夫婦 2 人で元気で暮しています。孫が 6 人になりました。長男・次男とも海外駐在をを終えて日本に戻りました。私はカラオケ三昧の毎日です。英語は毎日勉強を続けております。

神崎 (岡野) 信子 (大 F20)
元気に過ごしております。**瀬山雅博・博子 (大 S20)**
夫婦揃って元気に東京ロングステイをエンジョイしております。

阿部博司 (大 M21)
朔風会 (モンゴル語同窓会) の活動を通じ、会員間のコミュニケーション・リレーションを活発にしていければと考えております。会員の方々の eメールアドレスのご連絡を私あてお願い致します。

中谷紀之 (大 M21)
食草コレクターとして、幼虫ハンターとして、青い山脈に向かって転がしています。アワブキに強制産卵させて、スミナガシの羽化を果たした。魚木(ぎよばく)の植栽したりして、70 坪の庭をバタフライガーデンにしたい。

寺尾 (渡邊) 裕子 (大 DM21 院 J16)
2019 年 3 月に京都ノートルダム女子大学大学院人間文化研究科応用英語専攻の修了課程を修了しました。

岡崎友美 (大 A21)
退職後 4 年になります。近年、東京地区のクラス会の集りに加えてもらって、旧交を温めています。**加藤直樹 (大 S21)**
グリークラブ OB 合唱団 (大阪) に所属しています。グリー以外でもここ数年間で名古屋、熊本、伊予西条、

伊豆の国市、八戸、小樽、高知等の演奏会に個人参加しています。

藤井利男 (大 K22)
商社時代の経験と知識を活かしてマーケティングコンサルタントをしながら 4 月からは ECC 国際外語専門学校で日本語教師としてビジネスメール・BJT ビジネス日本語能力テストの読解を日系企業入社を目指す留学生に教えています。

井上清昭 (大 M22)
勤務先破綻のためやむなく始めた貿易会社です。が、20 年目に入りました。綱渡りの毎日です。アマゾン取引のウェイトが大きくなっているので、販路の多角化に注力しています。

石黒伸幸 (大 IN22)
2 年前に完全退職し、現在セカンドライフを楽しんでいます。**川口 洋 (大 C23)**
昔の中国の教養人の嗜みである「琴棋書画」の内のピアノと囲碁に熱中症の日々を送っています。時間と金が不足気味です。

山本由紀子 (大 P23)
私はシックハウスアレルギーで悩みつつ、なんとか生きています。

北岸敏男 (大 R23)
いつもご案内ありがとうございます。お陰様で元気にやっております。

吉田雅美 (大 R23)
S44 入学、一年次の学校封鎖をいいことに以来学校には寄り付かず＝勉強せず、ただ居心地はよく、S50 に卒業、H26/9 には会社も完全卒業しました。ロシア語は入社時に一時使うも、元来相性が悪いのか(!?), 全く身に付いていませんが、外大に行ったことで会社生活も楽しく完遂でき、感謝しています。今は週 5 日卓球三昧の生活です。

佐藤利子 (大 C24)
幹事の方、色々ご苦勞様です。残留邦人の相談員の仕事を辞職して後は地域で母語支援や学校から保育園まで面談通訳を続けています。

廣澤義幸 (大 IN24)
平和構築機構としての ASEAN の動きに注目しています。

重富勝己 (大 B24)
母校がどのように変わり行くのか楽しみです。久しぶりに参加したく願っています。

牧野 厚 (大 DM24)
残念ながらデンマーク語とは縁のない人生でした。高校の英語教員を生業とし、現在は高校の非常勤講師と日本語学校教師の 2 足のワラジです。中国の実習生も教えていて、中国語の面白さにはまっている昨今です。

竹下 (森) 雅樹 (大 R24)
山口市で不動産業をしています。趣味はゴルフとカラオケ (ロシア語・中国語)、ロシア語学科なのにロシア文学を読まなかった学生時代。今から読み直そうかな。

竹川教司 (大 TV25)
定年後は JETRO 滋賀で貿易投資アドバイザーをしています。

短 信

総会出欠ハガキの短信欄からの転載です

中村 浩 (大 TV25)
長年の海外駐在を終え、今はのんびり九州の自宅で引退生活です。たまにアルバイトして海外旅行と資格試験に挑戦しています。

小森絹子 (大 S25)
卒業して40年以上経っているとは思えない旧友との歓談。(大分にて)一息に当時にタイムスリップ! 次回はスペインへ行きますよ! と盛り上がりました。

清水和彦 (大 C26)
谷町九丁目の地下鉄、上本町の近鉄、にぎやかだったなー。思い出します。

味噌保雄 (大 E27)
2019年3月に神戸芸術工科大学を退官しました。長年英語教育に専念してきましたのも母校のおかげと感謝しております。創立100周年を機に母校が益々発展されますことを祈念しております。

大橋章子 (大 E27)
姉の孫たちから(11才9才5才)「おばあちゃちゃん」と呼ばれています。

小島 卓 (大 E27)
旧三和銀行→三菱 UFJ 銀行→関連会社と続いた約40年間の会社勤めも2020年4月に65才で終了。サッカー部や英語科の仲間との交流は一生続いていくことでしょう。

井上俊二 (大 C28)
現在、中国蘇州で勤務5年目です。

中南文生 (大 IP28)
現在は再雇用契約社員として同じ会社で勤務しておりますが残り2年となりましたので最後まで頑張りたいです。また2010年に1万歩/1日歩きはじめて来年で10周年になります。年に数回は28期の大阪在住者で東京の方が来阪の折り集まっています。

稲村 洋 (大 P28)
毎年1回場所をかせ、東花園祭時代の友人と5人ですが、「花園五人衆」会を持っております。外大で過ごした日々は、私にとって宝物です。

辻 和克 (大 IN29)
インドネシア留学2年、インドネシア勤務6年と13年計19年。現在、新潟県糸魚川市の繊維メーカーに勤務。

川村優理 (大 TV29)
登録有形文化財「藤岡家住宅」館長です。奈良県五條市にも一度お訪ね下さい。古い文物と楽しくお付き合いしています。

圓山 望 (大 IP30)
浄土真宗本願寺派(西)の小寺院の住職で、「報恩講」シーズンでいつも欠席で申し訳ないことです。

木村弘一 (大 D30)
アマゾン・ジャパンのサイト内の市川秀志らの著書に対する書評を御高覧下さい。

森川栄一 (大 TV31)
外大卒業後、大阪府立高校の英語教師となり定年退職となりましたが、引き続き再任用で母校に勤めております。野球部やベトナム語科の旧友とも旧交を温める機会があり、その度に外大出身である喜びを感じています。

外大後輩の妻 (大 IP32)も八尾市の中学校英語教師として元気にやっています。箕面学舎がなくなる前に、みんなが集まる機会があれば願っています。

森 裕賀 (大 A32)
今年は産業カウンセラーの資格を取得しました。来年はキャリア・コンサルタントの資格を取るため毎週日曜日、休み返上で現在学校に通ってます。

中路 亨 (大 E32)
近年、外国語学部卒業生の咲耶会への加入が減っていると聞き及び危惧しています。大阪外国語大学の歴史は大切にしつつも、大阪大学外国語学部の卒業生にも自分たちの同窓会だと感じられる活動が何なのか、旧外大、阪大の卒業区分に関係なく考えることが必要なのだと思います。これから先も大阪大学外国語学部としての歴史が積み重ねられていくのですから。

田中富美子 (大 F32)
私の勤務する姫路文学館には「司馬遼太郎記念室」があり、祖父さまが姫路生まれであつたこと、「播磨灘物語」ゆかりの地などを紹介しています。ぜひ一度お立ち寄りください。

佐藤忠隆 (大 F33)
インターネットが普及して外国語も勉強しやすくなりましたね。意味不明であつた単語も大抵は答が見つかります。そんなこともあって改めてフランス語の勉強を始めました。

橋本優子 (大 R33)
現在、ロシア語は使っていませんが、英語の翻訳を仕事にしています。

中矢定隆 (大 P34)
目眩に悩まされながら、映画鑑賞・囲碁将棋・詩作・作曲などを楽しんでいきます。

高見素子 (大 D34)
地区の同窓会があれば参加したいです。

松本裕之 (大 R34)
卒業後33年が過ぎました。バスを乗り継いで通った箕面キャンパスがなつかしく思い出されます。

上床真弓 (大 IP38)
3年前に生まれ故郷に戻りました。50才にして人生リ・スタートです。

杉野(黒川)成美 (大 S38)
先日、息子と一緒に現キャンパスを懐かしんできました。新キャンパスも楽しみにしております。

垣谷 香 (大 R38)
2000年生まれの次女が2020年2月から上智大の交換留学でサンクトペテルブルク文化大に一年行きます。今、親子でロシア語を共に学んでいます。懐かしい!

野上麻理 (大 E40)
東京単身赴任中です。中3・高3の子供達のダブル受験もあり、公私バタバタしています。

佐藤智子 (大 TV42)
国際移住機関 (IOM) に勤めて12年になりました。2018年5月よりパプアニューギニア事務所働いております。

森 博美 (大 A43)
京都に赴任している間に、一度は総会への参加を希望していましたが、願いが叶わず残念です。皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

中橋美紀 (南欧大 PB45)
日頃、ポルトガル語を使うことは皆無ですが、先日オリンピック関連で久しぶりに辞書をひいたり発音を確かめたりする機会あり、とても懐かしく又新鮮な気持ちにもなりました。

中村 健 (中南米大 S48)
2020年2月に社会福祉士の国家試験を受けます。2度目の挑戦です。頑張ります。昨年は2点差で不合格となりました。

高橋 明 (ロシア・東欧大 R53)
今は看護師として働いています。

佐橋彩加 (北米大 E58)
昨年第二子を出産し、男の子2人の母になりました。

土屋彰子 (日本語大 S8)
青年海外協力隊でタイの中等教育機関で日本語を教え、現在は京都の日本語学校で教えています。夢は叶うものですね。

藤井真実 (比較文化大 S8)
自分の夢に向かって頑張っています。大学時代の日々が支えになっています。

加藤倫美 (南欧大 IT58)
2019年よりイギリス・ロンドンに移り住みました。

長池史織 (阪大 IN5)
元気に生活しております。新キャンパスに移転したら遊びに行きたいと思っています。

丸子仁美 (阪大 PB5)
いつも楽しく読ませていただけてます。現在、仕事の都合で東京に住んでおります。仕事を辞めたいと思うぐらい辛い時期がありましたが、誰もが経験することだと腹をくくり、また周りの方々に助けていただきながら今日まで頑張つてこられました。いつの日か咲耶会に参加し、先輩方の体験談などをお聞きできたら幸いです。

吉平千賀 (阪大 A6)
元気で仕事がんばっています。

齊藤涼花 (阪大 C8)
今年の春大学を卒業し、伊丹空港のJALで国際線の乗り継ぎ手続き(伊丹→羽田/成田→国外)の仕事をしています。お客様の出国先は種々様々で英語をはじめ専攻語であつた中国語を活かしています。ビザのことや外国の航空会社とのやりとりなど日々勉強の毎日です。

粟野萌子 (阪大 M8)
このステップに向け準備中の日々です。

大橋花帆 (阪大 M8)
就職し他県在住しております。

星島達太郎 (阪大 R8)
9月よりロシアサハ共和国へ日本語教師として派遣されています(母・代筆)

森本 隆 (短 E3 II E18)
以前のように東京でも仕事をしていた時には東京会場でも行けたのですが、今は関西が多いので東京は

きついです。外国人観光ガイドや通訳をしています。

呉竹 正 (短 E4)
KIX 関西空港のある町泉佐野市でMICE誘致事業に取り組んでいる市民団体(一社)泉佐野シティブロモーション推進協議会の理事として頑張ってます。

辻野貞夫 (短 E5)
75才になりましたが、クラス有志による同窓会は毎年継続中です。(外大時代を思い出しながら)

茂幾周治 (短 R6)
歴史と文化、そして自然豊かな天津市で元気に暮しています。

富永 (鄭) 真己 (中北欧夜 E30)
大学の教員として働き始め15年目になります。4カ所目です。しかし、一番ユニークで忘れたい人達が多かった大学は、外大であることにいまだに変わりなく、咲耶を拝見する度に再認識しています。

林 晋作 (中・北欧夜 E31)
第13回島崎藤村記念文芸祭 創作(小説)部門・入選

森本 智 (南欧夜 F31)
NHKのTV 語学講座の"旅するフランス語" "旅するスペイン語"録画して勉強してます。

藤澤美知男 (ロシア・東欧夜 R32)
箕面新キャンパスが誕生するとのこと、'21と未だ先ではございますが楽しみですですね。会社にも外国語学部卒の後輩が入社する等、旧外大の仲間が増えております！

村中(和田)美紀 (東アジア夜 C34)
子供と一緒に暮らしています。

吉留洋祐 (ロシア・東欧夜 R38)
独立行政法人航空大学校にてパイロット教官として飛行しています。箕面キャンパスはまだ残っているのでしょか? 大学時代に戻りたいという気持ちです。また箕面にも足を運びます。

内田智之(中・北欧夜 E43)
現在、長居にある大阪学芸高・中に勤めています。授業、部活動(バレーボール)と生徒と一緒にがんばっています。皆さまによろしく。

井上洋治 (II F1)
現在、NHK文化センター (大阪梅田) で週1回フランス語の授業を受けています。やはり、フランス語の受講は楽しいです。受講することによる視野の広がりがすばらしいです。

細江伸典 (II F1)
高校の英語教師(外大卒)森本先生、大橋と松井一郎、中原俊郎、デスカンフレール先生に仏語：外大は私にとって常に I'll be rooting for 外大です。

大北義郎 (II R4)
後期高齢者になりました。外大、ロシア語とのかかわりは同窓会の案内のみです。感謝しています。

粟津昌宏 (II E14)
大学非常勤を退職してから、不定期に全く関係のない仕事をしています。

大島幹雄 (II F14)
東京オリンピック 2020、フィールドキャストのボランティアで東京へ行く予定です。

野本裕之 (II E15)
東大阪市の生産緑地で桃、ブドウ、レモンの木、計15本程と野菜を作ってます。阪急トラビックスの外国旅行での入書類にはFarmerと書きます。

北田裕己 (II R15)
近々、新規事業に参入。現在、吹田まち案内人ボランティアに参加中。

奥田邦晴 (II C16)
大阪府立大学の教員を務めています。現在、地域保健学域長、総合リハビリテーション学研究科長、学長特別補佐を務めています。

村上逸子 (II C16)
毎年、楽しみにしています。

近藤孝一 (II S17)
いろんな職業についてきましたが、

物故者

行くところに必ず阪外大のOB・OGの方が(採用してくれた方も含めて)いました。うれしいことです。

中嶋祥代 (II E19)
アラ還になり親の介護に奔走中です。

田坂雅弘 (II F19)
香港に駐在して13年目になります。最近はやモが過激化しておりますが、早く平和的に解決してくれることを祈っています。

荒川貴佳子 (II S19)
最近タップを始めました。いつかはプロードウェイで…。

福原慶尚 (II E20)
76才。島根の山間のわが家は学生民宿をやっています。"学生だった"人もOK。利用者はめったにありません(苦笑)

渡邊泰夫 (II F22)
還暦となりました。昨年春より堺の関学系属校賢明学院中学高等学校に勤務。

令和元年8月から令和2年6月までに連絡いただき、確認がとれた方々のお名前を掲載いたしました。慎んでご冥福をお祈りいたします。

語 科	氏 名	語 科	氏 名	語 科	氏 名	語 科	氏 名
名誉教授	原田 武	IN19	本永茂貞	E26	西田源治	大D18	新谷亮一
名誉教授	勝藤 猛	IN27	河合由男	大E1	松村昌家	大D18	豊島則夫
C18	西川雅敏	大IN11	瀬田育成	大E1	山上元孝	大D18	毛利邦彦
C20	吉川 績	大IN11	森村 蕃	大E2	宮浦 博	大D37	阿久根武志
C21	小林正治	大IN11	諸戸素雄	大E3	高岸敏雄	F 18	松瀬一郎
C22	信田 茂	大IN14	尾崎 勝	大E3	中川榮一	F19	結城 裕
C23	高橋昭平	大IN14	竹村登史亨	大E6	田坂 保	F21	岡本邦雄
C23	森吉琢郎	大IN17	渡邊悠三	大E7	冠野啓三	F26	弦川 功
C24	村上昭三	大IN19	田斉与四雄	大E7	南 正敏	大F1	水橋悟郎
C26	太田 進	大IN20	吉内健次	大E10	折本 敏	大F4	永田浩士
大C1	宮本一心	大IN22	桐井孝幸	大E12	相原(田島)浩子	大F7	深井 実
大C3	横田量夫	I P16	江湖紀郎	大E12	山本哲也	大F10	段 裕貴
大C6	古野俊一	I P26	村瀬善一	大E13	安部隆男	大F12	吉井淳一
大C7	芦澤良一	大I P3	小枝 博	大E16	大脇由紀夫	大F15	山崎壽雄
大C7	小谷信夫	大I P3	橋口洋哉	大E21	増田吉信	S19	河北珍彦
大C7	若林 允	大I P4	美馬 修	D26	新宮(神田)克巳	S21	大島一郎
大C8	永井 宏	大I P12	前野宏一	大D2	橋本和雄	S23	岡田 肇
大C16	荒木武司	大T V9	藤原武彦	大D2	星田紀夫	S27	桑原 巖
大C39	安藤誠志	大TV18	竹原研一	大D6	小川恭二	大S1	築山誠治
大K42	三戸 宏	大B20	原 幸紀	大D8	岩中秀雄	大S3	内海龍三
M21	塩出亮治	E 3	山本龍一	大D8	早川忠久	大S3	水木光一
M23	野上昭二	E 18	西岡 (武部)健	大D8	藤田彦彦	大S5	川上武男
M24	中井正則	E25	中江吉三郎	大D16	安田千人	大S8	大澤 寛
M24	牧村市邦	E25	永田耕三	大D18	後藤一弘	大S9	高田 亘

富崎宏子 (II D26)
会社員として何とか元気に生活しています。

韓 南洙 (II R26)
2007年7月から12日まで、ハンゲル学会の招待で第573回ハンゲルの日慶祝式に参席しました。この日はじめて祝日になりました。全国国語学学術大会にも参加しました。日本からの参加者がいなかったのが残念です。

常 義宏 (II C28)
2005年より中国山東省烟台を拠点に仕事をしておりましたが、最近は大阪にいた時間が長くなってます。

村木健路 (在学生)
入学して9年目(D3)になりますが、まだまだモンゴル語を勉強中です。

無記名
これが本物の「大阪外国語大学」からの支援依頼ならば、微力を振り絞ってお伝えしたい。申し訳ありませんが

「大阪大学」は母校ではなく、特別な思いもありません。まことに遺憾ながら、吸収合併を決断された当時の外大の先生方は、阪大の先生の肩書を得たいと思われ、外大を裏切られた結果が、「大阪大学外国語学部」という名の、全く別の組織になってしまったのだと思っています。会費の負担者の減少理由は分りませんが、少なからず母校ではなくなったと考えている方のいることも原因の一つではないでしょうか。申し上げてもしかたないことですが、私はお世話になった母校になら寄付したい。印刷費や発送料がかかるとも思いますので、私を含め、会費未納者には会誌を送らないようにして下さい。会費を納めないのは、もはや母校は存在していないと思っているからです。せっかくな内頂いたのにお許し下さい。

^[1] 東京海洋大学教授 中川雄二 (II R16)

化学薬品・食品添加物



磯田商事株式会社

代表取締役 磯田 良一 (大IN3 / 昭和30年卒)

〒336-0936 埼玉県さいたま市緑区太田窪3-15-14

TEL: 048-887-2943



TMI 総合法律事務所 大阪オフィス

弁護士 大水 勇 (大C15)

〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町 8-1 梅田阪急ビルオフィスタワー 36 階

Tel: 06-6311-0577 / Fax: 06-6311-3978

私たちは、塗料事業で培った技術と人財を 最大限に生かした製品・サービスを通じて、 **人と社会の発展を支えます。**

世界をフィールドに挑戦を続ける



www.kansai.co.jp

年会費支払者・賛助金寄付者一覧

年会費のお支払い、賛助金のご寄付ありがとうございました。
※は年会費と賛助金の両方を納入いただいた方です。ご協力ありがとうございました。

- 大C26 込茶三郎
- 大C1 橋本 敬
- 大C2 山根矩昭
- 大C3 下神洋造
- 大C3 中井 隆
- 大C4 青木明生
- 大C4 園田成起
- 大C5 富永(磯部)邦夫
- 大C5 岡田 進
- 大C5 村上利雄
- 大C6 中島章夫
- 大C7 杉本達夫
- 大C7 平野拓也
- 大C8 中空善彦
- 大C8 山田敬三
- 大C9 嘉門道彦
- 大C9 平岡 豊
- 大C10 辻 優
- 大C10 安田克己
- 大C11 青木俊一郎
- 大C11 村岡 穆
- 大C12 上垣邦夫
- 大C12 前田(尾形)潤子
- 大C12 片桐淳二
- 大C12 斎藤彰一
- 大C12 崎 貢
- 大C12 玉山(西田)順彦
- 大C12 南 賢
- 大C13 垣平 淨
- 大C13 川原一行
- 大C13 喜田 修
- 大C13 児玉龍徳
- 大C13 坂野勝彦
- 大C13 住山 毅
- 大C13 竹下晃治
- 大C13 田村(塚原)節子
- 大C13 松井正雄
- 大C14 西村成雄
- 大C14 吉田茂彦
- 大C15 森本(石川)美佐子
- 大C15 伊藤彰一
- 大C15 大水 勇
- 大C15 守屋 求
- 大C15 若林道明
- 大C16 河田一夫
- 大C16 高城丈夫
- 大C16 中土浩治
- 大C16 深谷裕康
- 大C16 若菜大樹
- 大C17 河原 清
- 大C17 斎藤 誠
- 大C17 中村忠之
- 大C17 西脇義彦
- 大C17 山口建治
- 大C18 浅田隆司
- 大C18 井上尚弘
- 大C18 浜名義雄
- 大C19 梅本(井上)和子
- 大C19 春名 肇
- 大C19 松野賢二
- 大C20 茅田泰三
- 大C20 小林和能
- 大C20 重松孝司
- 大C20 村上(中村)真理子
- 大C21 折田正明
- 大C21 山田昭一
- 大C22 呂(王)英成
- 大C23 朝倉潤真
- 大C23 竹内(竹内)玲子
- 大C23 岸(正村)多恵
- 大C24 小野善史
- 大C24 岡田(塩野)光子
- 大C24 仲畑尚敏
- 大C24 福富奈津子
- 大C25 西川孝次
- 大C26 杉田欣二
- 大C26 細井(高橋)由紀子
- 大C26 井上(松林)由喜子
- 大C27 岸(魚谷)昌代
- 大C28 井上俊二
- 大C28 村本幸久
- 大C29 津森(飯塚)住子
- 大C29 平松康弘
- 大C31 植田泰史
- 大C31 井上(高橋)順子
- 大C31 立川和彦
- 大C31 高瀬(和田)幸子
- 大C33 児玉良紀
- 大C33 深尾葉子
- 大C34 市浦計宏
- 大C34 長崎(小椋)靖子
- 大C34 竹中俊穂
- 大C34 橋本淳一
- 大C34 森下圭造
- 大C35 二河(井上)ゆかり
- 大C35 満原(上野)逸子
- 大C35 小川雅美
- 大C35 多門美穂
- 大C35 西邑一美
- 大C35 稲子(馬場)寿恵
- 大C35 堀 健一
- 大C36 石光 猛
- 大C36 熊谷(小野)晃子
- 大C36 深沢(笠井)和子
- 大C36 加藤敏介
- 大C36 平野拓也
- 大C37 佐藤(大野)みのり
- 大C37 河本高枝
- 大C38 今田憲男
- 大C38 西田(紫藤)崇代
- 大C38 南 敦幸
- 大C39 池山良太郎
- 大C39 櫻尾(櫻本)季美
- 大C40 島村(河野)多鶴子
- 大C40 藤田法子
- 大C40 神田(牧川)友美
- 大C41 山内(竹裏)智恵
- 大C44 井上和佳
- 大C44 山岡(太田)あかね
- 大C44 松香(岡田)有紀子
- 大C44 町田卓二
- 大C44 松下公子
- 大C45 千田(伊東)理恵子
- 大K16 前田征信
- 大K18 横西慶宗
- 大K19 王 寛一
- 大K21 畑山康幸
- 大K23 渡部義春
- 大K25 渡部宏文
- 大K29 上田景勇
- 大K30 任 喜久子
- 大K30 植村 茂
- 大K31 岸田文隆
- 大K31 向頭達夫
- 大K33 栗生(勝本)昇
- 大K33 舟橋宏代
- 大K40 山根泰延
- 大K41 徳丸明子
- 大K43 梶間貞志
- M22 近藤常太郎
- M11 平尾貞三
- M13 橋本 勝
- M13 吉田隆観
- M14 神徳昭甫
- M15 山田(森下)宏子
- M16 林 卓也
- M16 藤川千草
- M17 東村孝郎
- M18 戸川 浩
- M20 山下尚志
- M21 阿部博司
- M21 吉本幸吉
- M22 井上清昭
- M25 吉岡(水野)賀子
- M28 伊藤道彦
- M33 塩谷茂樹
- M34 滝澤(中村)強
- M34 丸岡 仁
- M37 川岡美智恵
- M37 シュニエ(邦)容子
- M39 鶴羽(岡)祐美子
- M41 小林悠子
- M41 南葉冬子
- IN23 波部 清
- IN25 石川欣也
- IN3 石井義人
- IN3 梶谷敬二
- IN4 島崎忠彦
- IN4 長谷謙雄
- IN4 西尾昭雄
- IN4 榑谷昌博
- IN5 田端順二
- IN5 田(塚口)俊彦
- IN6 河上宗弘
- IN6 寺嶋正直
- IN7 小黒 一
- IN7 丹羽宏造
- IN7 吉田 稔
- IN8 滝本佳一
- IN8 西田達雄
- IN8 西脇 政
- IN8 本庄直一
- IN9 植田正博
- IN10 石川恵二
- IN10 高野郁男
- IN10 中田浩二
- IN10 松木 優
- IN11 小原一浩
- IN11 堀田 実
- IN11 前田比佐夫
- IN12 内原正司
- IN12 小杉 功
- IN12 堤 昌昭
- IN12 辻(湯川)修司
- IN13 有井 晟
- IN13 宮崎衛夫
- IN13 横田義明
- IN14 鈴木安夫
- IN14 土尾克己
- IN14 井上(宮下)久生
- 大IN16 広瀬(山田)加代子
- 大IN17 本田正伸
- 大IN18 長尾善伸
- 大IN18 柳沢長四郎
- 大IN19 野崎淳一
- 大IN21 荒川啓司
- 大IN21 奥 文昭
- 大IN21 小田敏治
- 大IN21 本田義美
- 大IN21 三好勝春
- 大IN21 米田洋一
- 大IN22 阿部(宇坪)直子
- 大IN23 丹羽慎吾
- 大IN24 廣澤善幸
- 大IN25 大角幸彦
- 大IN25 林内(高田)典子
- 大IN26 中村由実
- 大IN27 大野 泉
- 大IN27 笹原敬生
- 大IN28 片山信英
- 大IN29 下野正一
- 大IN29 道幸静児
- 大IN29 南野忠之
- 大IN30 小畑史郎
- 大IN34 西川(今井)まさき
- 大IN34 墨 史朗
- 大IN38 田中美佐子
- 大IN40 吉村(奥田)幸子
- 大IN40 金子敦子
- 大IN40 三枝哲一郎
- 大IN40 下平英輝
- 大IN41 飯塚(北川)泰宏
- 大IN42 竹前(小林)望美
- 大IN43 坂元 祐
- 大IN44 藤原(田中)佳織
- 大IN44 三隅理恵
- 大IN45 興和雅哉
- IP25 松永通温
- IP26 調子 肇
- IP26 中島宏二
- IP27 竹内玉蔵
- IP3 小林富蔵
- IP5 高畑 澁
- IP5 谷本幸夫
- IP6 中川博行
- IP6 平岡暉啓
- IP6 森西良俊
- IP7 櫻村 肇
- IP7 高村充一
- IP8 友金 守
- IP8 藤本清志
- IP8 増田次郎
- IP9 岩木邦安
- IP9 鮫島洋一
- IP9 谷 昌宏
- IP10 根端徳
- IP10 久保泰三
- IP11 大濠幹郎
- IP11 澤田真一
- IP11 西森雅史
- IP11 山川洋一
- IP11 和田(渡辺)幸子
- IP11 高水忠孝
- IP12 阪口(中村)マサ子
- IP13 奥平龍二
- IP13 坂口嘉一
- IP13 中村佳永
- IP13 日比敏夫
- IP13 溝上富夫
- IP14 池田(伊藤)正夫
- IP14 坂口捷男
- IP14 須田悦生
- IP15 竹内俊一
- IP15 山下一夫
- IP16 稲岡俊一
- IP17 戸倉光明
- IP17 山脇弘栄
- IP18 宮崎(奥村)真知子
- IP18 鎌本(平田)京子
- IP18 山本次介
- IP19 生田慎吉
- IP19 四方陽司
- IP20 石田英明
- IP20 横山節夫
- IP21 大野 裕
- IP22 井上保教
- IP22 小野俊一
- IP25 小野浩次
- IP25 笹山喜市
- IP25 瀧野真咲
- IP26 中村隆雄
- IP27 神野(杉野)弘美
- IP27 堤 昌昭
- IP28 神田(饗庭)良江
- IP28 片山 巖
- IP28 中村(久保)美由紀
- IP28 竹村(鈴木)康子
- IP28 長島(藤井)雅子
- IP30 木本(鈴木)絹子
- IP30 圓山 望
- 大IP31 豊田(小田)美津子
- 大IP31 有藤(佐々木)篤子
- 大IP31 中村泰雄
- 大IP32 ゴエン(坂下)優子
- 大IP32 大田(下江)真寿美
- 大IP32 三原久美
- 大IP34 小河邦彦
- 大IP34 辻 裕紀夫
- 大IP34 中江加津彦
- 大IP36 青山(久保)聡子
- 大IP37 大石(橋本)なつ美
- 大IP38 原田(岩根)明美
- 大IP38 山中(辻)博弥
- 大IP39 岩見睦尚
- 大IP40 薄墨(属)律子
- 大IP41 西村昌也
- 大IP41 秋山(藤本)和美
- 大IP42 坂本(秋山)喜代子
- 大IP44 山本(櫻野)幸代
- 大TV7 西村 清
- 大TV8 高橋滋次
- 大TV11 西沢毅彦
- 大TV15 請田裕史
- 大TV15 榎本(佐々木)克子
- 大TV17 坂本史彦
- 大TV17 土森道雄
- 大TV18 田口 進
- 大TV20 櫻 崇
- 大TV21 崎山 誠
- 大TV22 西村朋也
- 大TV25 小野 隆
- 大TV28 内田隆博
- 大TV28 西村俊一
- 大TV29 川村優理
- 大TV29 大木 守
- 大TV30 磯部英美
- 大TV30 田中美穂子
- 大TV31 中野(中塚)雅子
- 大TV33 田島啓行
- 大TV34 長田義行
- 大TV36 寺田 章
- 大TV36 寺田(本多)美貴子
- 大TV36 村上忠良
- 大TV37 本田(高木)広美
- 大TV37 廣島輝夫
- 大TV40 三田(中西)初音
- 大TV42 木下晶子
- 大TV42 佐藤智子
- 大TV43 福岡秀一
- 大TV44 岡松由理香
- B2 和田 達
- B7 土橋(山田)泰子
- B8 石堂知宏
- B8 藤原史和
- B15 大重昭子
- B15 藪 司郎
- B16 龍村季男
- B18 南田(井上)みどり
- B18 森 修三
- B19 石丸富治
- B19 田中茂明
- B22 高城 豊
- B22 南 信夫
- B25 中川晴吾
- B27 谷口雅俊
- B27 松島勇治
- B30 花園 誠
- B31 末永(三浦)成美子
- B34 柳井(山本)由香
- B36 山 淳
- B37 澤下くる美
- B37 瀬尾あかね
- B38 倉本和寛
- B38 野口千恵
- B39 朝永(神尾)亜紀子
- B40 秋山達也
- B40 植草(竹村)美香
- B43 大江(小林)昌子
- A24 松村 平
- A25 今井辰行
- A8 河野利一
- A10 森野欣一
- A12 軸丸則男
- A13 妹背捷二
- A13 海東 泰
- A13 長浜栄一
- A14 加藤 勇
- A14 森 滋
- A15 塩尻 宏
- A15 塩尻(中村)和子
- A15 細尾俊之
- A15 吉崎史明
- A16 梅野順義
- A16 中元康裕
- A17 小林良三
- A17 篠崎由紀子
- A19 高階美行
- A20 石田(大西)明子
- A21 岡崎友美
- A21 古角末廣
- 大A24 山岡幸一
- 大A27 久保田法順
- 大A27 野口勝久
- 大A27 林 幹雄
- 大A28 田中(石原)昭子
- 大A28 後藤(木村)泉
- 大A28 松原 浩
- 大A29 田中(山崎)久美子
- 大A32 安部寛之
- 大A32 LEROUX(後藤)尚美
- 大A32 野間 厚
- 大A32 森 裕賢
- 大A33 森田祐司
- 大A34 川口(一番ヶ瀬)洋子
- 大A34 河井(吉田)好見
- 大A35 八木(櫻井)裕子
- 大A36 加藤竜也
- 大A36 田嶋慎一郎
- 大A36 藤山(大和)由美
- 大A37 田中喜博
- 大A37 武藤宏幾
- 大A38 汐田直美
- 大A38 片岡(大谷)雅子
- 大A38 河田ふじ
- 大A39 谷田川(般若)優子
- 大A42 田中(田中)久美
- 大A43 内藤早智
- 大A43 森 博美
- 大A44 前川(今元)裕美子
- P13 河村 宏
- P13 高濱 昭
- P15 大高俊彦
- P15 春木孝宣
- P16 香川英明
- P18 奥田素子
- P18 半田康彦
- P20 塚田 匠
- P22 長野義博
- P22 泉 四郎
- P22 田伏辰夫
- P24 遠藤比登志
- P24 竹之下勇美
- P26 宮原武文
- P28 稲村(加藤)洋
- P29 志茂(小方)智子
- P33 野垣(清松)和美
- P34 中矢定隆
- P37 真野(加藤)一恵
- P40 五十嵐(井上)美治子
- P41 毛利仁美
- E23 隅田周治
- E23 由井春樹
- E26 金井 清
- E27 藤井 暉
- E27 森田啓司
- E1 東條(太田)喜代子
- E1 笹井常三
- E1 正保富三
- E1 柴田千蔭
- E1 玉城勝也
- E1 細川安則
- E2 釜谷研造
- E3 金山弥寿雄
- E3 酒井豊次
- E3 塩田克博
- E3 中川栄一
- E4 内山正克
- E4 堀江幸夫
- E4 森 茂
- E4 森本光俊
- E5 大久保孝博
- E5 小野 博
- E5 加茂康郎
- E5 馬場弘行
- E6 田淵弘通
- E6 辻田哲男
- E6 六藤隆夫
- E7 井口 毅
- E7 伊藤豹一郎
- E7 芳賀直美
- E7 藤田欣吾
- E8 浅野 弘
- E8 石井純一
- E8 菊井忠雄
- E8 阿部(佐々木)祥子
- E8 清水正治
- E8 松尾尚治
- E8 尾敷 潔
- E9 網本保榮
- E9 石野博史
- E9 住江 漢
- E9 高木成佳
- E9 羅田(繩田)洋子
- E9 孝儀(吉田)明子
- E10 梅原一哲
- E10 小川眞一
- E10 片岡利昭
- E10 丹野哲男
- E10 荒木(新田)泰子

年会費支払者・賛助金寄付者一覧

年会費のお支払い、賛助金のご寄付ありがとうございました。 ※ は年会費と賛助金の両方を納入いただいた方です。ご協力ありがとうございました。

Table with 4 columns of names and IDs. Includes entries for various departments like 西村茂忠, 山岸(渡辺)由加利, 岡部憲明, etc.

咲耶会(同窓会)本部・支部一覧表

本部	会長	連絡先	E-mail or TEL/FAX
	大水 勇(大C15)	事務局 〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1 大阪大学外国語学部内	TEL&FAX (072)728-2327 sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp
支 部	支部長名		
北海道	笹山喜市(大IP25)	〒003-0029 札幌市白石区平和通9丁目北1番29号	sasayama@sapporo.email.ne.jp
東 北	黒木一吉(II E10)	高橋啓介(大PH52) 〒982-0821 仙台市太白区松が丘15-7	cb250Keisuke@yahoo.co.jp
東 京	久保義昭(大S14)	樽井一仁(大R23) 〒114-0003 東京都北区豊島5-2-20-1603	taru2742@yahoo.co.jp
静 岡	下石京子(日本語大45)		loverswalk1975@hotmail.com
長 野	山西敏博(院後言社8)	〒386-0034 長野県上田市中之条371-7-202	ezm11541@nifty.ne.jp
名古屋	白岩 修(大D19)	〒465-0066 名古屋市名東区梅森坂西1-801-107	shiraiwa1123@yahoo.co.jp
岐 阜		丹羽宏造(大IN7) 〒508-0101 岐阜県中津川市苗木4827-48	k.niwa@ena-gf.jp
石 川	楠根重和(院D7)	吉田孝子(大IT37) 〒921-8171 金沢市富樫1-10-4-601	taka5yomako@gmail.com
福 井	山下裕己(大S23)	〒915-1232 越前市二階堂町18-8	h.yamashita@fukuishimbun.co.jp
京 都	宮川督三(大S16)	西尾 齊(大E11) 〒606-8404 京都市左京区浄土寺下南田町70	dkals108@kyoto.zaq.ne.jp
奈 良	神谷忠雄(大E4)	佐柄保夫(大C26) 〒631-0804 奈良市神功1-4-125	sagara07@hera.eonet.ne.jp
大 阪	金村義夫(II E10)	〒540-0021 大阪市中央区大手通3-3-3 日宝東本町ビル	ykanemun@forest.ocn.ne.jp
神 戸	大森久美子(大DM36)	〒662-0835 西宮市平木町3-21 ルモンド西宮229号	kkmom93@yahoo.co.jp
播 但	釜谷研造(大E2)	〒675-0038 加古川市加古川町木村140-8	FAX (079)424-7777
丹 波	岸田 功(大IN15)	〒669-3309 丹波市柏原町柏原47	rskq59484@zeus.eonet.ne.jp
香 川	大西 晏(R25)	森本勝幸(大S15) 〒760-0080 高松市木太町九区843-1	morimoto.kren@docomo.ne.jp
徳 島		小田敏治(大IN21) 〒770-0003 徳島市北田宮3丁目2-34	tom_oda@emn.ne.jp
愛 媛	垣生千春(大IP40)	〒799-2460 愛媛県松山市菟木甲119-8	hazar-baharjulai-25@ezweb.ne.jp
高 知		周藤健史(大S30) 〒780-0024 高知市前里335-7	tkmrn1917825@me.pikara.ne.jp
岡 山	草野 徹(大DM23)	〒701-1221 岡山市北区芳賀5112-98	akirakusano0319@i.softbank.jp
広 島		山岡 哲(大IT20) 〒733-0814 広島市西区己斐西町19-37	sakuya.hiro555@gmail.com
鳥 取	小原越史(中北欧夜E30)	〒683-0802 鳥取県米子市東福原5-8-26-202	a2coh@yahoo.co.jp
島 根	勝部由紀夫(大D33)	〒693-0101 島根県出雲市上島町1-363	yukiokatsube@icloud.com
福 岡	吾郷健二(大S10)	中尾史子(大IN27) 〒815-0083 福岡市南区高宮2-18-12-501	nfumi3191@gmail.com
熊 本	かじえいせい(大S21)	〒861-2405 熊本県阿蘇郡西原村宮山1547-1	dreamincountry@gmail.com
宮 崎	近藤哲二(II S10)	〒880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄1720-2	tekondo64@gmail.com
沖 縄	金城徹男(II D5)	鈴木正士(大S36) 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1 琉球大学法文学部国際言語文化学科	msuzuki@ll.u-ryukyuu.ac.jp
北 京	中嶋清治(大C21)	賈亜里紗(阪大C5) 北京市朝陽区(以下略)	arisa.minoru@eneos.com.cn
上 海	渡邊 洋(大C29)	伏村和展(大C59)	sh_oufs@yahoo.co.jp
香 港	太田明雄(大IT26)	小林敏子(東アジア大C57) Flat 9B, Chuen Fat Building, 9 Valley Road, Ho Man Tin, Kowloon, Hong Kong	4styles.enterprise@gmail.com
ソウル	渡邊浩一(大K35)		Daiwa Securities Capital Markets Korea Co., Ltd 20 Fl.&21Fl., OneIFC, 10 Gukjegeumyung-Ro, Yeongdeungpo-Gu, Seoul, Korea kwatanabe@kr.daiwacm.com
ジャカルタ	坂口広之(大IN36)	高岡容子(大IN35) Bandung, Indonesia (以下略) Jakarta, Indonesia (以下略)	darwin0708@gmail.com ytakaoka@cbn.net.id
マニラ	テンマタイ柴垣都喜代(大E25)	# 16 Waling-waling St., Tahanan Village, Paranaque City, Metro Manila Philippines 1720	tsukiyotenmatay@gmail.com
バンコク	川村芳範(大TV24)		kawamura-yoshinori@earth-chem.co.jp
		阪本法子(開発・環境大47) Ms. Noriko Sakamoto #2007 Cape House Serviced Apartments, 43 Soi Langsuan, Ploenchit, Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330 Thailand	osakagaidaiykk@yahoo.co.jp
ハノイ外語会	中本修一(開発・環境大48)		shuichi.nakamoto@mizuho-cb.com
ヤンゴン外語会	松島勇治(大B27)		centro318@gmail.com
ニューヨーク		石田佳子(大D29) 230 East 44th Street # 3C New York, NY 10017 USA	hime.yoshikoishida@gmail.com
ロサンゼルス	望月一郎(大E25)	西川ノーマン裕子(大TV36) 4060 Alla Road, Los Angeles, CA 90066 USA	ichimochizuki@yahoo.co.jp hirokonamann@gmail.com
サンパウロ	草薙綾子(中南米大PB48)	Alameda Santos, 705-cj. 17-Carq. Cesar Sao Paulo-SP-Brasil-01419-902	wec@wecbrazil.com
ロンドン			
デュッセルドルフ	片岡 惇(大S4)	小玉亜衣(大D52) Grenzstr. 33 40670 Meerbusch Germany	
パリ	松本隆男(大F4)	c/o Mr. Takao MATSUMOTO 11 Rue Delabordere 92200 Neuilly / Seine France	matsumototakao@netntt.fr
ミラノ			
モスクワ	岩本 茂(大R18)	c/o JAPAN TOOL SERVICE 119049 Ul.Korovij Val dom7, kv168 Moscow	iwamoto@jtools.biz
シドニー外語会		河原一夫(大DM40) 45 Moree Street Gordon, 2072 NSW Australian	kawahara345@oki.com

SALAT

株式会社 サラト

TEL 0120-953-070

受付時間 月～金 9:30～12:00 / 13:00～17:00

同窓会幹事代行承ります。



※(株)サラトは同窓会の名簿管理会社です。

令和2年度 咲耶会役員名簿			
名誉会長	竹村景子	院 A22	
会 長	大水 勇	大 C15	
副 会 長	井上泰子	大 E15	
	小林正受	大 E16	
	荒木和夫	大 DM18	
	樽井一仁	大 R23	
幹 事	西尾 齊	大 E11	
	藤本和貴夫	大 R12	
	前田征信	大 K16	
	深川泰博	大 E16	
幹 事	白岩 修	大 D19	
	三次召尚	II C5	
	西村朋也	大 TV22	
	石野伸子	大 D22	
	笹原敬生	大 IN27	
	河井洋子	大 R27	
	大森久美子	大 DM36	
	上原順一	院 R22	
	松本健二	院 S24	
	福田義昭	院後言語 1	
幹 事	並川嘉文	院前日本 7	
	菊池信孝	開発大 57	
	福山泰海	大 H59	
	後藤 峻	南欧夜 F42	
大学役員	岸田文隆	院 K15	
	村上忠良	大 TV36	
会計監査	岡本晶子	大 S29	
	野垣和美	大 P33	
相談役	磯田良一	大 IN3	
	少徳敬雄	大 E11	

『咲耶』編集委員会 委員長 井上泰子 / 委員 上原順一・松本健二・並川嘉文 / 事務局 天野豊子・西田貞子・大熊美紀

◆ 個人情報の取扱いについて

咲耶会は個人情報保護法遵守の立場から会員個人情報については適切に扱うことが重要であると考えています。

- 登録の個人情報は、下記の目的に利用します。
 - 会員のデータ管理
 - 総会・同窓会活動各種案内
 - 会報『咲耶』の送付
 - 各支部からの申請に基づき、当該地域のデータ提供
 - 語科・同期会責任者からの申請に基づき、データ提供
 - その他会則に基づく活動
- 自己情報の提供は任意です。
- 個人データの本人からの請求があった場合には、開示、訂正、追加、利用停止、削除を行います。
- 同窓生情報のお問合せは、相手方会員の了解があった場合のみのご案内といたします。
- 登録の個人情報は委託先も含め、機密保持に万全を尽くします。

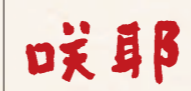
編集後記

『咲耶』31号をお届けします。
 新型コロナウイルスが猛威を振った2020年は、グローバル化の進展する世界に、大きな課題を投げかけた年でもありました。入学式、オリエンテーション等、例年なら普通に行われる行事が、すべて中止。キャンパスに人影はなく、メディア授業がつづきます。同窓会活動も企画していたイベントのほとんどが中止を余儀なくされる中、皆さまの温かいご支援にお応えすべく、何とんでも会報『咲耶』だけほど、取り組んでまいりました。
 来年4月の学舎移転に向けて、事務局の倉庫にうず高く積まれた資料を整理する過程で、100年前の開学から、戦前、戦後、統合の

前後を通じて、それぞれの時代に母校の発展を支えた先人の存在に思いを致すこととなりました。母校の歴史や伝統を伝える上で、その時代の「今」を生る言葉で書き残すことの大切さを再認識した「巣ごもり」の日々でした。

特集「緊急事態の世界から」では、海外で暮らす同窓生や留学生が、異郷にありながら、このコロナの時代を逞しく、エネルギーに生き抜いている姿が見えてきます。『咲耶』を通じ、未永く外語精神の健在をお伝えしたく、今後もご支援よろしく願いいたします。

(編集委員会)



会報 No.31 (2020)

発行 令和2年9月

発行者 咲耶会(大阪大学外国語学部・大阪外国語大学同窓会)


〒562-8558 箕面市粟生間谷東8-1-1 大阪大学外国語学部内 E棟1F

TEL & FAX: 072(728)2327 E-mail: sakuya@sfs.osaka-u.ac.jp


ホームページ: sakuyakai.net

フェイスブックページ: www.facebook.com/SAKUYAKAI

郵便払込口座番号: 00910-7-21536 加入者名: 咲耶会



咲耶会 メールアドレスおよび
連絡先 QR コード



咲耶会 facebook
QR コード